広報やわた

第311号
1989年9月

発行 八幡市役所
京都府八幡市八幡園内75
電話 (075)983-1111
編集 企画部秘書広報課

人口 7万4922人 （前月より65人増）
（1989年8月1日）
男：3万7461人 女：3万7461人
世帯 2万3468世帯
動き（7月分） ・出生 73人・死亡 22人 ・転入 357人・転出 343人

9月9日は救急の日です

9月9日は「救急の日」です。私たちの命を守るための救急車。用件は正しくあわてずに、また不用不急のときは、要請しないようにしましょう。

夏の夜のおもいで
にぎやかに盆大に夏まつり

みその保育園

地域の夏まつりや盆おどりがほぼ終わった8月26日、市立保育園では、夏まつりや泊り保育が一斉に行われました。

ここ、みその保育園では、保護者会主催の夏まつりがにぎやかに催されました。午後6時、園児らが飾り付けた2基のみこしが周囲を練り歩いてオープニング＝写真＝。あいにく小雨模様でしたが、園庭に設置されたやぐらの回りを「ハメハメハ大王」などの盆おどりを親子で楽しみました。模疑店や映画も上映され、花火大会で園庭に「'89みその保育園」の火文字がうかび上がりフィナーレ。

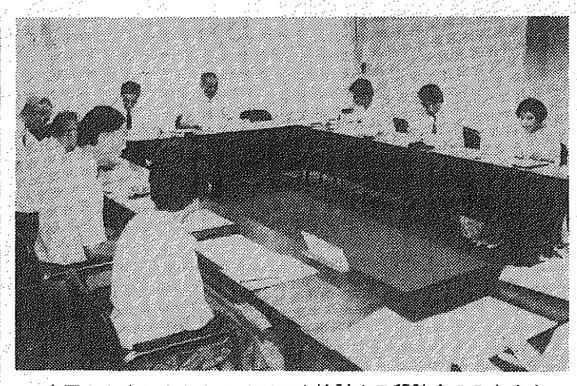
園児らは、過ぎゆく夏の夜のひとときを楽しく過ごし、おもいでをいっぱいつくりました。

人材育成と市民交流を

ふるさと創生検討懇が答申

中学にLL学習システム
行事参加用バス2台も

市民から寄せられたふるさと創生事業のアイデアを審議していた八幡市ふるさと創生事業検討懇談会（辻利治座長、12人）は、8月14日、LL学習システムを市内4中学に設置する案と、バス購入案の2件を実施するよう、西村市長に答申しました。これを受けて市では、9月定例市議会に補正予算案を提案することにしています。



市民から寄せられたアイデアを検討する懇談会のみなさん

ふるさと創生1億円の使い道について、4月に市民からアイデアを募集したところ、72件が寄せられました。これを受けて市では、7月25日に市議会や婦人、福祉団体の代表ら12人で構成した懇談会にアイデアの選考を諮問しました。

懇談会は、八幡市基本構想の理念に沿い、八幡市の特色を生かすもので、将来にわたって市の発展に役立ち、広く市民に幸福をもたらすことを基本において、3回にわたり審議されました。72件のうち通常の予算で考慮するもの、時期的に無理、金額的に無理、国府等の所管、事業効果に疑問があるもの――などに分類し、来年3月までに完成し、1億円の範囲で実施できる事業を8件に絞り込み検討。

選ばれたLL学習システムを全中学に設置する案は、市育友会連絡協議会が提案。国際化が進むもとで、次代を担う生徒を育成することに役立ち、一般市民の利用も検討すべきとしています。バス2台の購入は、同連絡協のほか、社会福祉協議会や自治組織団体長連絡協議会など7団体からの案で、大型、中型各1台を購入して、市の行事などに利用し、市民の利便を図るとしています。また、団体間で効率的に利用できるようバス利用範囲の検討を要望しています。

辻座長から答申を受けた西村市長は、「ふたつの事業は華やかさこそはないが、人づくりと人のふれあいという基礎的な面で、真に市民のためになるものと期待している」と述べました。

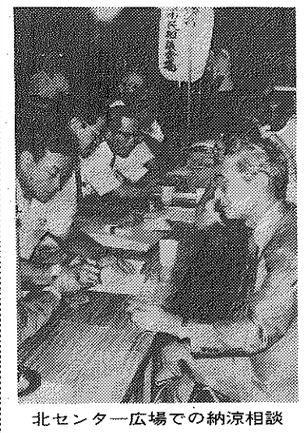
LL学習システム　LLとは、ラングエッジ・ラボラトリー（ことばの実験室）及びラーニング・ラボラトリー（学習する部屋）の頭文字でテープレコーダーやマイクロフォン、ブラウン管を使う語学練習用機材のこと。主にヒアリング（聞き取り）養成と発声練習（聞き比らべ）の専用機である。

実際に役立つ語学力を身につけるには読む、書く、聞く、話すの4要素が不可欠。高校学習課程においても、英会話重視に移行しつつある。

56件の意見や要望
4会場で納涼市民相談

日ごろ市役所に訪れる機会の少ない市民のみなさんの意見を市政に反映させるため、勤め帰りの時間帯で「納涼市民相談」を実施しました。この相談は、昭和44年から実施している事業で、今年で21回目。はだか電球の下、直接市長や助役、各担当部課長と相談できるとあって、多くの意見や要望が寄せられました。

今年の相談は、8月21日に京阪八幡市駅前、22日に四区公会堂前、そして従来からの京阪くずは駅前を改め、24日に男山団地の南センター広場、25日に北センター広場で実施。午後6時から8時までの短時間ですが、八幡市駅前11件、四区公会堂前14件、南センター広場17件、北センター広場14件の計56件の意見や要望等が持ち込まれました。



北センター広場での納涼相談

相談内容別にみると、八幡地区では、路上駐車の取り締まり強化や駅前駐輪場の問題、街路樹のせん定と害虫駆除の声などが出されました。四区公会堂前の橋本地区では河川改修や側溝の整備、下水道水洗化の使える時期の質問のほか、国際化社会に対応するため、中学生に生きた外国語教育が必要――という意見も出されました。男山地区の2会場では、空き地の除草、騒音公害の防止、街灯の増設のほか、目ざわりになる大型広告物が多いので屋外広告物の規制を強化してほしい、松花堂や文化センターに老人割引き制度を求める意見が出されました。また、住宅の建替え問題が将来必ず出てくるので、土地の有効利用を図るためにも高さ制限を緩和できないか――など、それぞれの地域性を反映した質問、意見要望が出されました。（右表参照）

この納涼市民相談で出された意見や要望は、その場で回答できるものは即答しました。また、調査や関係機関と協議しなければならない問題については、後日、回答することにしています。

納涼市民相談内容別件数

種別＼会場	八幡市駅前	四区公会堂前	南センター広場	北センター広場
	件	件	件	件
総務部	－	－	1	－
企画部	－	－	3	1
建設部	6	6	6	6
福祉部	－	1	1	3
産業部	1	1	－	1
上下水道部	1	3	1	1
教育委員会	－	3	－	1
消防本部	3	－	5	1
合計	11	14	17	14

＊意見、要望の出された部のみを掲載

非核平和ステッカー販売
青年と留学生の広島研修

八幡市の非核平和事業をさらに推進するため、非核平和都市推進協議会（会長・西村正男市長、48団体）では、「非核平和ステッカー」をつくり、市民のみなさんに購入をお願いして、その収益金を「原爆ドーム保存募金」に寄付することにしました。また、八幡市の事業として、本市在住の青年と外国人留学生を広島市へ派遣し、国籍を越えて平和と核兵器廃絶を学ぶ機会を設けました。

【非核平和ステッカー】■実施時期　宣言7周年記念日にあたる9月28日から1ヵ月間■金額　1枚100円■販売方法　市役所各公民館、川口コミュニティセンターで販売（同協議会加盟団体は団体内で販売）■収益金は「原爆ドーム保存募金」に寄付

【青年と留学生の広島派遣研修】参加者を次のとおり募集します。■派遣期間　11月25日（土）・26日（日）の1泊2日■研修先　広島平和記念公園周辺■募集人数　青年と留学生各7人■応募資格　市内に居住する20歳以上30歳未満の市民と留学生で、非核平和を願い、国際交流にも関心のある人。研修終了後に感想文を提出できる人■応募方法　「平和な社会と核兵器」と題したレポート（400字詰原稿用紙3枚以内）と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入して、八幡市役所秘書広報課（八幡園内75）へ送付。応募者多数の場合は、レポートを審査のうえ決定■申込締切　9月25日（月）■参加費用　市負担

個人情報保護条例の制定を
検討懇談会が答申

今年12月から住民基本台帳記録の電算処理に伴い、個人情報保護制度の創設とプライバシー保護を検討していた八幡市個人情報保護制度検討懇談会（辻清次座長、7人）は、8月21日、審議結果を西村市長に答申しました。

懇談会は、8月10日に市長の諮問を受け発足。2回の審議を経て、個人情報の収集、利用制限などを定めた個人情報保護の条例を制定し、市民のプライバシー侵害を防ぐとともに、市民サービス推進と事故防止に万全を期して、さらに導入前後の健康診断をはじめとする職員の健康管理を図る――を柱とする答申をまとめました。

市長の手帳から

八月は鎮魂を祈る月、そして平和を願う月である。

もともと盂蘭盆（うらぼん）として、あげて祖先の冥福を祈ることが風習となっていたこの月に、昭和に至って原爆の悲惨が見舞い、何百万という人命を奪った大戦が終結するという歴史が重なって、いよいよ深く、ますます重く、鎮魂と平和の思いが沈む月となったのである。

脊の高き墓石ここにも大戦に果てし若者ここにも眠る

広島にゆきてぞ歌え鎮魂と平和の願い込めてぞ歌え

広島に歌いて日本一となるグランプリなり大賞なりき

アメリカに農学ばむとする十九歳髪長き女性を今朝は励ます

納涼といえども訴えはきびしくて汗流しつつ問いつ答えつ

眼に光問答はすみて握りたる手に力あり百歳のひと

予報告く張りのある声あの声はお天気おじさんの老い知らぬ声

原爆記念日に先立って、四日に広島市で開かれた非核自治体の総会には、私も市を代表して参加したが、二十七日の日曜日、その広島市で開かれた〝おかあさんコーラス全国大会〟に、八幡市の女声合唱団が京都府代表として出演、グランプリを獲得してみごと日本一の栄誉に輝いたことは、何といっても、音楽都市八幡の声価を高めた今夏一番の痛快事であった。

八月といえば、エジソン生誕の地のアメリカはオハイオ州マイランと友好都市の盟約を結んでから、ちょうど三年になるのがこの夏だが、そのアメリカへ府立の農業大学に学ぶ東美佐さんが視察実習に旅立ったのも忘れられないこと。農業の破壊が進むなかで、将来を農業にかけるという若い女性が育っている都市――との誇りをこれからも大切にしてゆきたいと思うのである。

夏恒例の納涼市民相談は、いつものくずは駅頭をやめて今年は男山の南と北の両センターで、二夜にわたって行ったが、通勤者でない主婦のみなさん方の顔がみえて、従来とは違った印象の相談となった。市民のみなさんの生活の場に出ての相談は、何としてもなまなましくて、肌で痛みを受け止めるという感じがひしひしとするのである。

八幡市として史上四人目の百歳の人が誕生したのもこの夏の話題のひとつだったが、二十二日、八寿園での老人大学は、お天気おじさんの福井敏雄さんを講師に迎えて大広間をはみ出す盛況となった。

台風十七号もとなく過ぎて、いよいよ秋。九月は敬老の月である。

八幡市長　西村正男

いま 女性の生き甲斐とは

市では、女性の地位向上と社会参加をめざして、現在、「男女平等社会をめざす八幡市行動計画」の作成をすすめています。この取り組みの1つとして、評論家の木元教子さんを招いて〝女性の生き甲斐〟をテーマに「市民文化大講演会」を開きます。ご夫婦での参加、また男性のみの参加も大歓迎。お誘い合わせのうえ、多数お越しください。

●日時　10月28日（土）午後1時～3時30分　●場所　八幡市文化センター大ホール　●テーマ　「いま女性の生き甲斐とは」　●講師　木元教子さん（評論家、文部省生涯学習クリエイティブアドバイザー）　●入場方法　市役所、各公民館で整理券を発行　●入場料　無料

市民文化大講演会　主催：八幡市・八幡市教育委員会

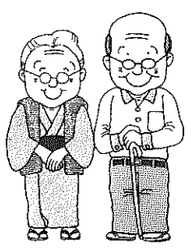
放置自転車等の防止にご協力を

〝乗る人のマナーがしめす放置ゼロ〟

市では、八幡市駅周辺における自転車・バイクの放置防止対策として、昭和61年に「八幡市自転車等放置防止条例」を制定し、八幡市駅周辺を放置整理区域に指定しました。標識や案内板を設置するとともに整理員を配置して、市民のみなさんのご理解をお願いするなかで、条例に基づき移動撤去の措置を講ずるなど、放置自転車等の防止に努めてきました。

市民のみなさんのご協力のおかげで、最近では平日の放置は少なくなってきましたが、なお日曜、祝日には数多くの放置自転車やバイクが見受けられます。道路や歩道上に自転車やバイクを放置されますと、付近の住民や歩行者に大変迷惑となるばかりか、交通事故の原因にもなります。ぜひ決められた駐輪場へ置いていただきますよう、ご協力をお願いします。

おじいさん おばあさん お越しを お待ちしています。



敬老会
愛老会

市では、長年の労をねぎらい、長寿を祝って敬老会（9月30日）と愛老会（10月21日）を八幡市文化センターで開催します。該当者には案内状を送付しますが、該当するのに届かないときは、八幡市社会福祉協議会（☎983・4450）へご連絡ください。

■敬老会　大正3年以前に生まれた人が対象■愛老会　大正4年から大正9年に生まれた人が対象です。

平和が好きです

ちきゅう規模の平和を八幡市から

八幡市が府下の市町村に先がけ、昭和57年9月28日に非核平和都市を宣言して今年で7年目。八幡市非核平和都市推進協議会（会長・西村正男市長）と市では、7月17日から8月12日までの期間、街頭啓発や平和関連映画の上映、小・中学生のポスター展、広島平和祈念式典への中学生派遣などのほか、今年は、丸木位里・俊夫妻の絵本原画「ひろしまのピカ」の展示や全国の非核平和宣言都市ポスター展なども新たに加え、各種の平和推進事業に取り組みました。各事業の参加者も年々増加しており、平和を願う市民の心の輪がますます広がりをみせています。ここに、私たちのまちで取り組んだ非核平和を進める各種の事業を、写真を中心にご紹介します。

《ポスター》　8月1日から6日まで、市内の小・中学生や市民による、平和をテーマにしたポスター189点を市文化センター展示室に展示しました。

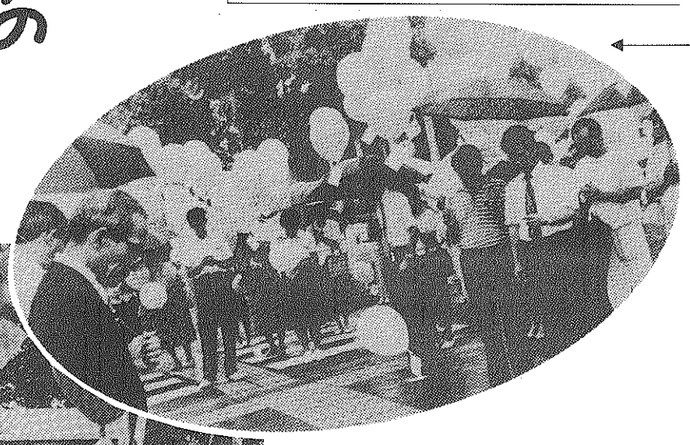
《街頭啓発》　8日3日午前7時から40分間、非核平和都市推進協議会の講成団体の代表ら約50人が京阪八幡市駅前で、非核平和都市宣言文を添えた野菜の種子1000袋を配り、平和の尊さを訴えました。

《横断幕》　8月1日から、八幡小学校東側と八幡大芝の各歩道橋に、平和の啓発標語を染め抜いた縦90㌢、横8㍍の横断幕を掲出。道行く市民に核兵器の廃絶や平和の尊さを訴えました。

《平和都市ポスター》　7月17日から8月12日までの4週間、全国の非核平和宣言都市の中から43市町村60点のポスター、チラシを集めて市役所ロビーに一堂に展示。来庁される市民のみなさんに全国の非核平和事業の取り組みを紹介しました。また、8月5、6日は、市文化センターロビーに移設して、映画のつどいなどに参加されたみなさんにも見ていただきました。

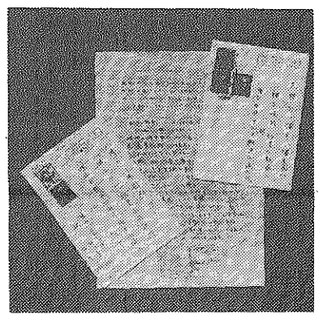
《原画》　8月5、6日の両日、市文化センター展示室で、広島の原爆で肉親を亡くし、以来、あらゆる生命をいとおしみつつ平和への祈りを込めて描き続けている丸木位里、俊夫妻の絵本原画「ひろしまのピカ」（24枚）を展示。当時のありさまを生々しく伝える原画と説明の前に、訪れた親子連れや市民らは熱心に見入っていました。

絵本「ひろしまのピカ」より



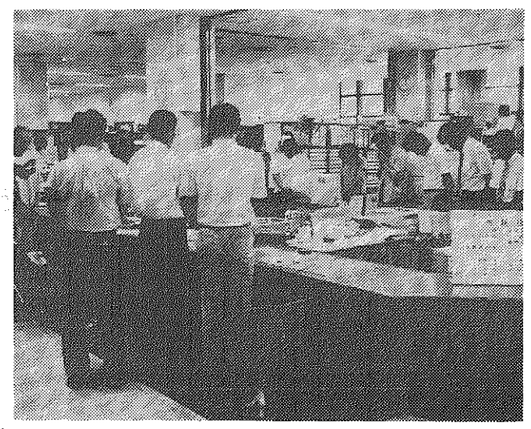
《つどい》　8月6日午前8時から市役所の非核平和都市宣言板前で「平和を願う市民のつどい」を開催。あいにくの小雨模様にもかかわらず非核平和都市推進協議会員や市民ら約300人が参加しました。つどいでは、宣言文の朗読のあと西村市長が「地球上には5万発の核ミサイルがある。核廃絶に向けて、平和運動の輪をさらに広げていきたい」とあいさつ。8時15分、市役所屋上のスピーカーから広島の「平和の鐘」を鳴らし、1分間の黙とうをささげ、このあと、宣言文を付けた風船300個を大空に放ちました。

《誓い》　8月6日午前8時から市役所非核宣言板前で行われた市民のつどいで、昨年の広島平和祈念式典に参加した男山中3年の上田智博君、真崎浩子さんの2人が非核平和都市宣言文を朗読。参加者らとともに、恒久平和の実現に向けて努力することを誓いました。



《返事》　平和のつどいで飛ばした風船を拾った人から手紙が届きました。奈良県橿原市中曽司町2692-7の岡田恵美さんから「戦争のない世界になるよう努力して」、八幡市川口西扇9-12の嶋慶子さん、祐香さんから「もっと核、放射能に対して敏感になって」と。

《若手指導者》　8月7日朝、ポーランドの自主管理労組「連帯」のマゾフシェ（ワルシャワ首都圏）地区委員長＝ズビグニエフ・ブヤク氏（34）が来庁、西村市長と歓談しました。ブヤク氏は、原水爆禁止の国際会議や広島平和祈念式典に出席したあと、非核平和事業に積極的に取り組む本市に、夫人らとともに立ち寄られたものです。



《黙とう》　長崎に原子爆弾が投下された8月9日午前11時2分と、終戦記念日の8月15日正午に、市役所内の全職員と市民が1分間の黙とうをささげ、死没者のめい福を祈りました。

非核平和都市宣言7周年特集

写真で紹介したほかにも、いろいろな取り組みが行われました。近く行われるものも含めて紹介しましょう。

《竹のメッセージ》　「人類から明かりを奪わぬように」と、エジソンゆかりの八幡産の真竹を封筒代わりに、中に非核平和都市宣言文と市内小学生の平和メッセージを入れ、核兵器保有国をはじめとした世界各国の都市に郵送し、核兵器の廃絶と軍備の縮小を訴え、平和のきずなを強めます。郵送時期は今年10月ごろです。昨年に続く2回目で、昨年は18カ国、2機関の元首などに直送したところ、アメリカやイギリス、フランス、オーストラリアから「賛同」する旨の好意的な返事が届いています。

《映画》　8月6日午前9時から市文化センター大ホールで、小学2年の教科書にも出てくる「そしてトンキーも死んだ」のエピソードをアニメ化した「象のいない動物園」と、長崎で被爆し「急性骨髄性白血病」により32歳の若さでこの世を去った山口竹子教諭をモデルにした「せんせい」を上映。親子連れなど約700人が映像を通して平和の大切さを再認識しました。

また、午後からは同ホールで、市職員労働組合青年部主催のアニメ「火垂（ほた）るの墓」が上映され、約500人の入場者らは戦争の悲惨さを心に刻み込みました。

《平和学習登校》　市内の小・中学校は8月5、7日のうちの1日や授業日を使って「平和についての学習」を行いました。校長が平和への願いを込めて講話を行ったり、映画の観賞や長崎修学旅行の体験作文発表（中学）など平和について勉強しました。

《一言メッセージ》　市民のみなさんから平和について〝一言〟を募集。一般市民4人と、先月に広島平和祈念式典に派遣された中学生8人の〝メッセージ〟を本紙先月号に掲載し、平和を呼び掛けました。

《人権展》　平和と人権展の期間中、人種や部落差別反対のパネルも展示しました。

《感想》　8月1日から6日まで市文化センター展示室で行われた「平和と人権展」に、多くの市民から意見が寄せられました。「このような取り組みは大変意義深かった」（36歳・男）、「これからも続けてほしい」（39歳・女）、「二度と戦争を起こさないようにしてほしい」（12歳・女）など。

広げよう世界平和へ非核の輪

同和問題市民講座 ◆37◆

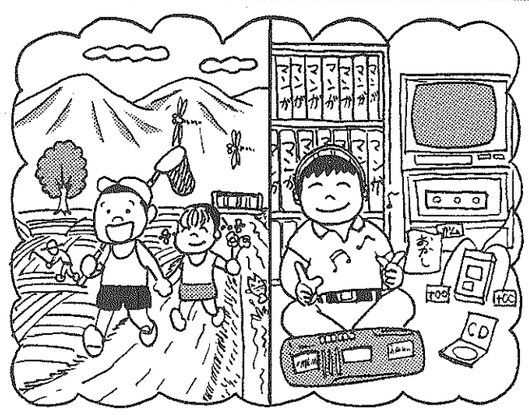
「教育を考える」
—土と生命の交感—⑧
絵本作家　田島征三氏

僕らがその村を去るときに一番印象に残ったのは、子供たちが泣きながら僕らに歌ってくれた歌でした。それであの歌はどういう歌なのかって聞いたんです。そしたらそれは近くの村で起こった軍隊による虐殺事件を、子供たちが歌とお芝居にしたんだと言うんですね。村には一つのハーモニカも、一冊の絵本もない。どういう教育をするかっていうと、それは自分たちの周りで起こったどんなかすかなことでもそれを歌にしよう。そしてお芝居にもしよう。そういう運動をネグロスの父親や母親が始めたんですね。そこでできたのがその歌だったんです。

僕は文化的な物質に満ちあふれてる日本の子供たちのことを急に思い出して、ラジオもなければ、テレビなんかもない、教科書すらない、小学校に行くお金がなくって。そういう子供たちが自分たちでつくった歌をね、泣きながら歌えるって思ったんですね。

最後の日にパコロドの病院に行ったんですけども、ここにはほんとにあった死ぬか、今日中に命が絶えてしまうかという子供たちがいっぱいベッドに寝かされてるんですね。ネグロスの人たちはお金がないもんだから、子供が飢え死にしそうになってるのに病院に連れていけないんですね。もう死ぬかもしれないと思ったらね、自分の大事なヤギを売って連れてくるわけです。そのときはもう手遅れなんですね。お腹はこんなにふくれて手足はポキンと折れそうなぐらい小さくって、栄養失調から吹出物がいっぱいできてて、だからそういう体が苦しいのか泣くんですね。そうするとその子供たちにつき添ってるのは、母親とか父親とかはほとんどいなくて、その子のお兄さんやお姉さんがついているんです。だから小学校の2、3年ぐらいの子供から中学生ぐらいの子供たちがいまにも死にそうな自分の妹や弟の面倒を見てるんですね。泣き出すと抱えるんですね。そして歌ってあげたり、そうすると泣きやむんですね、やがてそういう姿を見ていると、これもうらやましくなったっていうか、僕ら子供のとき、田んぼの中を駆け回ったりしているとき、だれでも自分の妹とか弟を連れて来ているでしょう。いまからあっちに行くぞ、なんてばあっと駆けると小さな妹を連れている子なんかどうしても遅れちゃうんですね。ふとその泣き出す子供に自分の妹を抱えて、一心になって走っていく、そういう姿っていうのを何か思い出すんです。

ガキ大将がいて、そしてその餓鬼大将からいろいろ学んだり、年上の子やほかの子供たちが攻めてきたりなんかするのを守ってくれたりする、また、自分が年下の子供たちを守ってあげたりすることを学んで、一人の人間として成長していったわけですけども、ネグロスにはそういうものが残っているということがね、すごくあんな悲惨さのほんとにもう胸がつぶれるような風景の中でもほんとに何か美しいな、というふうに思ったんですよね。


マンガ
マンガ
マンガ

八幡市 非核平和都市宣言

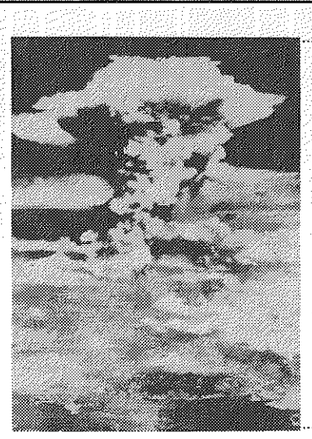
恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目標の達成なくしては、八幡市のめざしている“緑ゆたかな文化の都市”“心のかよう福祉の都市”の実現もまたあり得ない。

われわれ八幡市民は、いのちの尊厳を深く認識し、非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く全世界のひとびとに訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることを決意した。

ここに、八幡市を“非核平和都市”とすることを宣言する。

昭和57年9月28日

八幡市



〝巨大な原子雲〟（投下約1時間後撮影）
昭和20年8月6日午前8時15分、世界最初の核兵器が広島市に投下された。爆心1キロメートル以内の死亡率は88%と推定され、広島では14万人（推定）が死亡したといわれる。

筒井さんの話に聞き入る派遣生

広島平和祈念式典 中学生派遣特集

八幡市の次代を担う中学生たちに戦争の非惨さ、平和の尊さを学んでもらおうと、今年も8月6日の原爆記念日に合わせ、生徒らを1泊2日の日程で広島市へ派遣しました。生徒たちが被爆体験者から聞いた44年前の生々しい惨状に涙を流し、資料館の展示物に目をむけそうになりながらも、感じ、思った〝44年目のヒロシマ〟のレポートを紹介します。

広島への中学生派遣は、昭和60年からで、今年で5回目。

一行は市内4中学校から男女1人づつ計8人の生徒らと、非核平和都市推進協議会の大野征次さん、同和教育推進協議会の増田悌三さん、市職員5名、市議会議員5名の計18人で、8月5日午前8時から市役所非核宣言板前で行われた壮行会で、市長らの励ましを受けた後、新幹線で広島へ向かいました。

広島では、平和記念資料館、記念館、原爆ドームなどを見学し、宿舎では、原爆投下時14歳の中学生だった、被爆者の金光悦子さんの体験談を聞きました。

6日は、午前8時から平和祈念式典に参加し、多くの人たちと共に恒久平和を願って黙とうを捧げ、その後ひろしま美術館で平和ポスターを鑑賞し、帰路へとつきました。

筒井氏を講師に事前研修会

派遣に先だって、7月25日に、「長崎の鐘」「この子を残して」などの著書で知られる故永井隆長崎医大教授の二女で、3歳の時に被爆体験をされた筒井茅乃さん（西山足立）を講師に招いて、事前研修会を行いました。

「広島での体験をクラスや学校、そして自分の子供たちに伝えていってほしい。過ちを繰り返さないことが、被爆で死んだ人への最大の供養」との話に、生徒たちは聞き入り、広島行きの決意を新たにしていました。

この目で この耳で この肌で感じた 44年目のヒロシマ

広島平和祈念式典派遣中学生・後列左から国松正輝、木谷貴史、林原剛、内田直樹
前列左から原田文恵、横田優子、古谷純子
上田恭子（原爆ドーム前で、敬称略）

過ちは繰り返しませぬ

男山中学校 内田直樹くん

「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませぬから」という言葉が、広島に訪れたぼくの心に深く残っています。

実際に身をもって戦争を体験された語り部さんの話では、原爆が落とされたその日は、雲ひとつない暑い日だったそうです。広島に落とされた原爆は、普通の爆弾の2万倍もの威力をもつ爆弾でした。原爆が落ちた時は、辺り一面真っ暗で何も見えないような状態で、明るくなった時には、みんながケガをして血まみれになっていて、一瞬地獄へ来たような感じだったそうです。語り部さんは、こうおっしゃいました。

「戦争とは一番弱い立場の人が一番ひどい目にあう」と。資料館では原形をとどめないような鉄製のパイプや屋根の瓦などが岩のようにガタガタになっているものなどを見ました。式典には、日本全国・世界各国の人々が平和を願って広島に訪れていました。そのうちの一人として参加したぼくは、平和への願いを胸に黙とうをしました。

『平和は自分から開拓していかなければならない!!』。これから先、本当の意味での平和を実現したいものです。

被爆者への悲しい差別

男山第三中学校 林原　剛くん

初めて見る原爆ドームのそのすさまじい壊れだにびっくりしました。レンガは爆風と熱で半分以上消し飛んでいて、中央部の鉄骨はねじまがり、今にも崩壊しそうだった。その鉄骨をねじまげるような威力を持つ原爆の大きさは、直径70メートル、長さ3メートル、重さ4トン。

二度とこのような過ちをくり返さないためには、支配される側の気持ちになって考え、誤った考えをもう一度ふり返って、直していくことが必要だと思う。資料館の中の展示物から、この世に想像以上に恐ろしい地獄があることを学びました。

そして、その地獄を身をもって体験してきた語り部さんは、原爆を受け、半分くらいの皮膚が焼かれたにもかかわらず、お母さんや姉妹などの人々の努力で助かり、元気に数十年間を過ごして来た、といわれた。語り部さんが銭湯に入ると、みんなが気持ち悪がって、逃げ出す人も数多くいたそうです。そのため、店の人に「銭湯に入ると人がいやがるから入らないでくれ」と言われ、それほどくやしい事はなかったと言っておられました。

これからの日本には、そんな人たちがいなくなるように心がけることが大切だと思う。

涙をこらえ平和を願う

男山中学校 原田文恵さん

平和祈念式典に参加して、本当の平和というものがわかってきたような気がします。

資料館では、高熱で溶けてしまったガラスや、真っ黒になった弁当箱など、いままで見た事もない物がたくさんあり、あらためて戦争の悲惨さを感じさせられました。

語り部の金光さんの体験談は、とても詳細でした。原爆が落とされる前の事、落とされてからの周りの様子、逃げる途中の事など、資料だけでは全くわからない事まで話してくださいました。そして涙をこらえながらも、私達に平和への願いを訴えられた姿はとても印象的でした。

科学が発達した今、今の自分の事しか考えられない人が増えていく中で、みんなの事を考え、一生懸命尽くす人の立場が、あざ笑われるようになりかねないこの時代が、本当に良く、平和であるといえるのか。やはり、平和になるためには一人ひとりが人を大切に思う心を、もっと持たなくてはならないのではないかと思います。

あの恐しい戦争が再び起こらないためにも、戦争とはどういうものなのか、ずっと語り続けていく事が大切だと思います。

その瞬間辺りが黄色く

男山第三中学校 横田優子さん

私は広島へ行って、特に印象づけられたのは、語り部さんの体験談でした。

8月6日、人々が出勤する時間の8時15分、原爆が投下されました。B29が青空に飛行機雲をのばし、太陽と一緒に光り、とてもきれいだったそうです。その瞬間、辺りが黄色くなり、そしてまっくらになったそうです。

子供は火のつくような声で親を探し、家や校舎はペシャンコになり、道がわからないくらい人がたくさん避難していて、道のない山をよじ登って水や休む場所を探し求めて歩く人々。やけどの薬は少ししかなかったので、治る見込みのある人にしか薬をつけてくれませんでした。皮膚は梅ぼしのように赤くなり、髪の毛はなくなったそうです。

被爆者は、「体が弱い」ということを理由に就職もできなかったそうです。死んだ方がましだと思うくらい苦しんだそうです。するとおばあさんが、「悔しかったらこの原爆の苦しみを訴えることをしなさい」と言われたそうです。

これからは、原爆を体験した人が減っていくでしょう。そうなれば、私達が本当の事を伝えていかなければならないのです。

8時15分、式典参加者約5万人が平和の鐘を合図に1分間の黙とう

いつかどこかで戦争が

男山第二中学校 国松正輝くん

初めて原爆ドームを見た時、原爆ってすごく怖い物だなあと思った。そしてあんな丈夫な建物があんなにむちゃむちゃになっているのだから、そのまわりにいた人間はどんなふうだったのかを思うと、さらに恐しくなった。

広島で語り部さんの話を聞きました。話を聞いてそんな時代に生まれてこなくてよかったなあと思うと同時に、二度と繰り返してはいけないと感じさせられました。

原爆の資料館でも同じ事を考えさせられました。くにゃくにゃに曲がったビンやお皿。熱さで体の皮膚がたれさがっている姿。それはおそろしいものでした。

もしも、また戦争が起こったら今度はこんなくらいではすまないでしょう。建物なんか一つも残らないと思います。まして、人間なんかは特に。今、日本は平和だと思っている人がいると思いますがとんでもありません。いつ戦争が起きてもおかしくない状態なのです。核兵器も各国でどんどん作られてきています。起こってからでは遅いのです。そのためにも一人ひとりが戦争反対の意志を持つべきだと思います。そして核兵器廃絶を訴えて行こうではありませんか。

語り部さんの話を聞き入り、熱心にメモをとる。その表情は真剣。

8時15分のままの時計

男山東中学校 木谷貴史くん

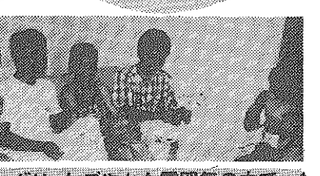
ぼくは広島へ行って、一番印象に残ったものは、語り部さんの話を聞いたことだった。原子爆弾は、原爆ドームの頭上600メートルのところで爆発したそうです。そして、あたりが、急にまっ暗になって、ものすごい風がふいたそうです。一瞬にして、広島市は焼け野原になって、死者も多く、爆心地の近くにいた人は、骨も、何も残らなかったそうです。

広島平和記念公園では、数々の碑がありました。その一つひとつに、碑を作った人の気持ちが伝わってきました。公園内にある資料館には、被爆した人の写真や、焼け野原から見つかったぼろぼろの服や、折れまがった鉄の板の扉や、8時15分をさしたままの時計がありました。

戦争は、世界の全土が戦争反対と訴えなければ、なくならないと思います。

もし、小さい事で、一つの町がごたごたばかり起こって、二つの町から、二つ、三つ、四つと増えていくと、結局は、大きな戦争になるかもしれません。

この旅行を通して、戦争の恐ろしさや、人の命の尊さを知りました。とても、いい経験ができたと思います。



ミーティングは、なごやかな雰囲気の中で、それぞれが感じた〝平和〟を語りあった。

恐れずに本当のことを

男山第二中学校 上田恭子さん

広島で見たもの。変形したつめ、真っ黒になったお弁当、近代化した街に意外と調和していた原爆ドームなど。映画や本だけで「知ったふり」をしていても、わかっていなかったことが多過ぎました。

先日、図書館で「遺品は語る」という本をちょっとだけ見ました。資料館で見た遺品の写真と遺族の話がのっていました。現地で見た時は言葉が出ない程の気持ちであったのに、3、4日たってみると「気持ち悪い」の一言で終わってしまったのです。「いったい自分は何の為に広島に行ってきたのか」って思いました。そんな反省と共に頭をよぎったのが「人の心はすぐに変化してしまう」ということでした。行く前に決めていた目標の結論は結局出なかったけど、もっと別のことを知れたのでしょうか。

「戦争って、してはいけないことの一つだよ。同じくらいしてはいけないのは、戦争を恐れて本当のことを知ろうとしないことだよ」って、私は妹に教えます。妹がどう反応するかはわからないけど、友達に伝えていってほしいです。

次代へ伝えるのは私達

男山東中学校 古谷純子さん

私にとって、初めての〝広島〟は、私の想像していたものと、大きく違いました。

平和資料館に行って、原子爆弾の実際の大きさの模型を見ました。もっと大きな爆弾と思ってたのですが、小さい中にすごい強い力が入っていると言う事が分かりました。

原爆の被爆者の中には、瞬間的に、強い熱を欲びたため、手の皮がとけ、爪の所でぶらさがっていたり、背中もかわらのように煮えたっていたりした人もいたそうです。

語り部さんの話では、資料館の辺りが爆心地で、地面から約600メートル爆発し、その地面の温度は6千度とも言われているそうです。

そして、暑いアスファルトの上を、はだしで歩いても熱いと思わず、それだけ、必死に家に帰る事を考えていたのだと思いました。

式典に参加して、ものすごい人を見て、想像以上に、みんなの広島への思いを感じました。

私達は戦争を知りません。あと何十年かすると、この戦争を次の世代に伝える人がいなくなります。そのために、私達が、知っている限りの〝戦争〟を、子供へ、そのまた子供へと、伝えていきたいと思います。

核兵器持たぬ決意が生む平和

同和問題市民講座

◆38◆

「教育を考える」
―土と生命の交感―⑨

絵本作家　田島征三氏

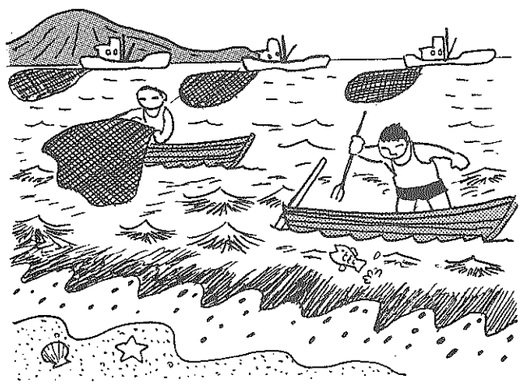
僕はネグロスの話をするときに必ず日本のことを言うんですね。僕ら日本に住んでいっぱい食べる物なんか余って捨てたりしているわけだけども、このことと、今ネグロスの人たちが飢えて死んだりしていることと関係がなくはないんですね。どっかで確実につながってるんですね。

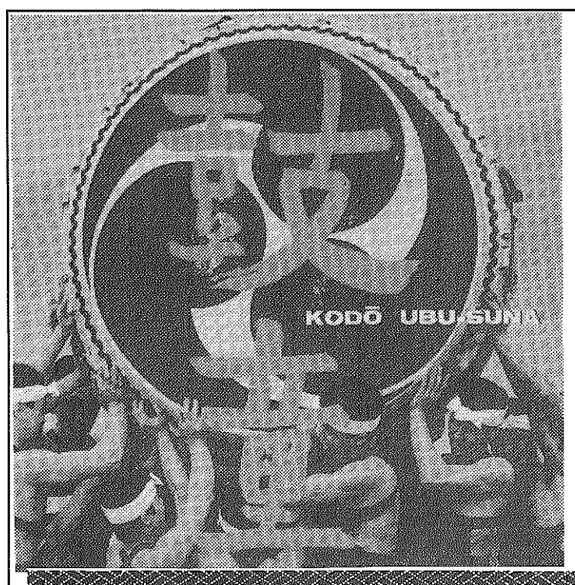
ネグロスで一番栄養状態が悪かったのは、実はサトウキビ労働者の村ではなくて漁村だったんですね。漁村っていうとね、作物がうまくできなくても魚があるから、それを食べてればいいじゃないかって思われるかも知れないんですが、魚がほとんどとれないんです。なぜかっていうと日本の船がかっさらっていくって言うんです。それはひどいなと思ったんだけど、その後、韓国の船が来て完全にまた残った魚をとっていって、私たちはこんな漁具しか持ってないし、小さな船しかないから、ちょっと風が吹くと出られないし、ほとんど魚がとれないんですと言ってました。日本とフィリピンには通商条約があって、これは「平等条約」だそうです。それは日本の船がフィリピンの領海に行ってどんな魚をとってもいい。そのかわりフィリピンの船が日本の領海に来てどんな魚をとってもいいというあの「平等条約」をマルコスと日本の政府は結んだんですね。もちろんこんなの平等条約のはずがないんですよ。フィリピンの船が日本の領海までやってくることはあり得ないわけですから。このことでフィリピンの漁民たちが飢え死にしたりするということは見えてるわけでしょう。政治家としては。けど日本の国を富ませるためには、日本の企業を豊かにするためには条約をたとえリベートをマルコスに与えても結ぶ必要があったわけですね。僕はね、これは卑怯だと思うんですね。まるで侵略だと思うんですね。

また、サトウキビから砂糖をつくるまでに黒砂糖を精製するわけですが、そのときに糖密からできるものっていうのが2つあるんですが、1つはラムなんです。糖密を醗酵させるとラム酒ができるんですね。僕はいまは一滴の酒も飲めない体になっているんですが、特にラム酒が好きでネグロスに行くまではプエルトリコのロンリコっていうラムがすごく好きだったんです。プエルトリコにしても、キューバのラムにしても要するにサトウキビのとれるところですね。フィリピンのラムほどおいしいものはないんですね。それがあんまりフィリピンの人だちっていうのは強い酒飲まないもんだから、ネグロスのラム工場というのはつぶれてしまったらしいんです。

いまマニラの近郊にラム工場が少し残ってて、僕はあのラム工場をもっと豊かにして、そこで働いている人たちが失業しないようにね。そしてサトウキビがほとんど価値がなくなったって言われているけど、糖密があればこんなにおいしい酒ができるんだっていうことをわかってもらうためにも、日本ももっとたくさん輸入してほどかっていうふうに思ってるんです。

（つづく）





鼓童 ONE EARTH TOUR
11/19(日)　午後3時30分開演

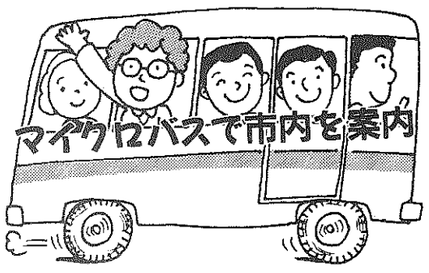
鼓童の音楽は、古代からの楽器である太鼓を叩くことで始まり、そのリズムと強烈な音圧は、胸に響き、体に伝わり、聴衆は大自然の中に投げ込まれた様な錯覚を覚えます。
国籍や人種を超越し、ダイレクトに心に伝わります。

入場料金
前売券 2,500円
当日券 2,800円

前売券好評発売中！
文化センター ☎971－2111
チケット電話予約

文化センター主催事業

まちを知る会 一般コース参加者募集



石清水八幡宮

市では、市民のみなさんにふるさと八幡を知っていただこうと、「まちを知る会」を実施しています。

今回は一般コースです。お気軽にご参加ください。

■日時　9月28日（木）午前9時から午後4時まで。小雨決行。
■集合　市役所4階会議室
■参加費　無料
■見学場所　洛南浄化センター、森のポンプ場、市民体育館、八寿園・こども動物園、八幡宮
■その他　昼食をご用意ください
■申込み・問い合わせ　秘書広報課 ☎983・11111内線200

税務署からのお知らせ

消費税の各種届出は次のとおりです。詳しくは宇治税務署☎0774―44―4141へ

届出書名	期限等
消費税課税事業者届出書	速やかに
消費税課税事業者選択届出書	10月2日（月）
消費税簡易課税制度選択届出書	
消費税課税売上割合に準ずる割合の適用承認申請書	申告期限

ごみは廃棄から循環へ

ごみ問題を考える

私たちが日常生活を営むなかで絶え間なく排出されるごみ。これらのごみは、年々増加の一途をたどり、その種類も多種多様――。特に、埋立て処分しか方法のない発泡スチロール、プラスチック容器の増加は、埋立処分地の寿命を急速に縮めています。

ごみを集め、処分するのは市の仕事です。決められた日に、決められた場所へ、決められたごみを出すのは、ごみを出す市民の最低限のルールです。

9月24日から10月1日までは環境衛生週間。この機会に、リサイクルとごみ減量、ごみ出しのマナーなどについて考えてみましょう。

年々増え続けるごみと処理経費

各家庭から出されるごみの量は年々増え続けています。これは、人口の増加と生活様式の変化――電化製品や家具の「使い捨て」やパック包装の普及などが主な原因として考えられますが、最近では、円高に加え内需拡大の影響でその傾向がどんどんエスカレートしています。

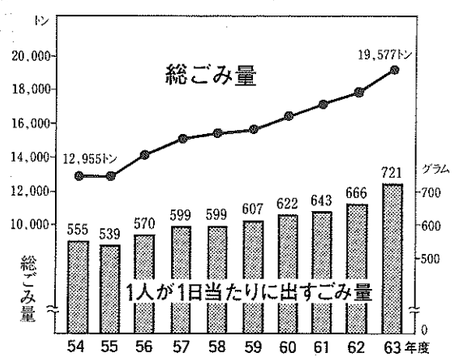
10年前、昭和54年度末の八幡市の人口は6万3968人、ごみの量は1万2655トンでした。それが、10年後の63年度末では、人口7万4404人、ごみの量1万9977トンになりました。この10年間で市のごみ量は約51%も増加しています。この間の人口伸び率が約16・3%ですから、ごみは実に3・1倍ものスピードで増加していることになります。

市民1人当たりの平均ごみ量は、54年度で年間約202キログラム（1日約0.55キログラム）であったものが、63年度で一人年間約263キログラム（1日約721グラム）になり、約30%増えています。（表1参照）

一方、ごみ処理経費も、施設整備やごみ量とともに増大し、54年度では4億941万8千円であったものが、63年度では7億389万5千円に上っています。これを市民1人当たり年間処理経費でみると、約9461円、1世帯平均（3・2人）では実に3万377円も使っていることになります。

ごみの量に比例して増加するごみ処理経費――。これに市民のみなさんの大切な税金が、こんなにもつぎ込まれているのです。ですから、ごみの減量やリサイクルは限られた財源をもっと有効に使い、豊かな暮らしをつくるうえでも、大切なことだといえます。

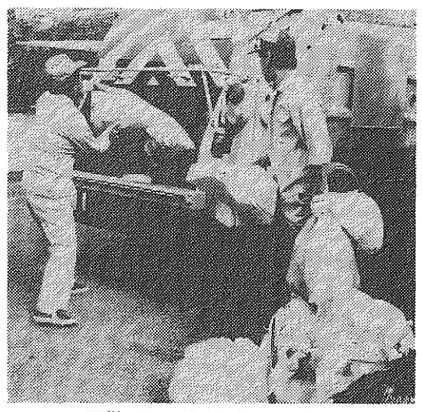
表1.　ごみ量の推移（10年間）



生かせる資源も捨てるとごみに

そのごみを捨てるのを、少し待ってください。捨てる前に、「これを生かす方法はないか。なんとかリサイクルできないか」と考えてみてください。ごみとして捨ててしまえば、埋立処分地の寿命を縮めたり、灰しか残らないものが、ちょっとした心遣いで、資源として生かすことができます。

このことから、資源として生かせるものを、むだにごみにしない――という市民運動が市内各地で芽きびんのリサイクルを確立させてきました。現在、自治会等の協力を得て、20地区、80ヵ所のステーションで、63年度は55トンの空きびんを回収しました。市では、市内全域で実施できるよう、自治会等に協力を求めているところです。

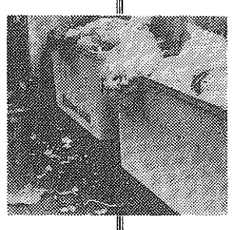

可燃ごみの集収（橋本栗ケ谷）

空きかん回収については、市民の理解が深まりつつありますが、資源としての回収サイクルが確立されておらず、経費の節減につながらないのが現状です。しかし、これらのごみは、企業の営利本位の姿勢から生まれたもので、その後始末を市民が税金でしなければならないのは不合理であり、資源としての回収の確立が急がれるところです。

円高で紙の原料などが安価に輸入できるようになり、古紙やダンボール類の値段が急落し、ごみとして排出されるようになりました。しかし、古紙1トンの再生は、普通の木20本を切らずにすむことから古紙、雑誌、ダンボールはごみとして出さず、リサイクル活動や業者へ出すように心掛けください。

また、各家庭で誰にでもできるごみの減量方法は、生ごみの水切りです。台所ごみの半分以上、約57%は水分です。台所では〝水〟を使うため、ぬれていないごみでも水をかぶりがち。しかし、水にぬれたごみは、その量と焼却時間を増やし、余分な経費が必要になるのです。

〝ぬれていないごみはぬらさない〟〝水分を多く含んでいるごみは乾かして出す〟――これを全ての家庭で実践するだけでも、大幅なごみの減量となるのです。


◀カラスがつついたごみ袋

市民の声

カラスの害対策

意見　私の住んでいる男山団地のごみ集積場に、毎朝20～30羽のカラスと数匹のネコが集まり、ビニール袋を破り、ごみを所かまわずちらかしています。人が近付いても電線の上に止まるだけで、すぐ舞い下りてごみ袋をあさります。私が今まで見ていたカラスよりもずっと大きくたくましい感じで異様な気がします。

何とかならないものでしょうか。暑さのため、ちらかされたごみが悪臭を放ちとても不潔です。（男山香呂・女性）

回答　カラス等の被害について市といたしましても、朝早くから団地及び周辺を巡回し、実情を把握しています。鳥獣の捕獲については京都府の所管であり、市といたしましては府と協議しながら有効な対応策を検討しておりますが、住宅地域のため狩猟、捕獲とも技術的に困難な状況です。

カラスの好むエサが、常時ごみ集積所に置かれているのが原因ですので、被害を少くするため、集積所のない地域と同様に、ごみ収集日当日の朝8時に出していただくか、ごみコンテナボックスにふたをするか、防除用の設備をするとが考えられますが、いずれにしても地域のみなさんの参画なしには実施できないところです。

市といたしましては、地域の自治組織と協力し、有効な方策について検討していくこといたしております。

リサイクルとごみ減量を

ごみ出しはルールを守って

ごみは分別し、定点収集にご協力ください（美濃山幸水）

危うく大事故に

「収集車を運転中、いきなり燃え出し、あわてて近くの水道を借り消し止めました」おもちゃの中に入っていた電池が、収集車のホッパー（プレス機）で圧縮されスパークし、収集車の中のごみが燃え出した様子を職員はこのように話しています。幸い気付くのが早く、大事には至りませんでしたが、このような事故は、今年になって3件も発生しています。

このほか、ごみ袋にむき出しで入れられたガラスの破片で作業員が手足を切ったり、廃油がかかったり、穴を開けずに出されたスプレー缶が引火して燃えたり、一般ごみに混じって出された危険物による被害がいろいろ出ています。こうした事故を起こさないためにも、ごみはルールを守って出しましょう。

収集しないごみ

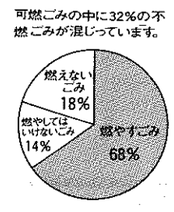
ごみを収集するのは市の仕事ですが、会社、商店、事業所から出る業務上廃品ごみは収集できません。また、家庭から出るごみでも危険物や処理困難物は収集しません。

【危険物】　プロパンガスボンベ、ガソリン、灯油、シンナー、ベンジン、花火、塩酸等の劇薬、農薬、消火器、バッテリーなど。

【処理困難物】　自動車部品、バイク、タイヤ、鉄板、土砂、古材、古瓦、レンガ、ブロック、コンクリートくず等のガレキやトタンなど。

市では、各家庭で分別された可燃（燃やす）ごみを週2回、不燃（燃やさない）ごみを週1回収集しています。このほか、粗大ごみを有料（年2回は無料）で収集し、食用廃油は、現在19地区、67ヵ所のステーションで回収しています。

可燃ごみは、家庭の主に生ごみや紙くず、布切れ等ですが、可燃ごみの中に32%もの燃えないごみや燃やしてはいけないごみが混じっています。その大部分がプラスチック容器で、燃やすと異常高温となり焼却炉をいため、有毒ガスが発生して大気汚染の原因となるごみです。可燃ごみの中に不燃ごみが混じっていますと、手作業で取り出さなくてはいけなくなります。きっちり分別ができていると、処理経費の節減にもつながります。



庭木のせん定ごみや除草ごみは有料収集（一袋100円）になりますので、植木屋さんに後処理をお願いするか、乾燥させて焼やすか敷草にするなど自己処理に努めてください。

不燃ごみは、びん、かん類や陶器のように燃えないごみと、発泡スチロール、プラスチック類（マヨネーズ・調味料・洗剤の容器、おもちゃ）ビニール製品などの燃やしてはいけないごみを収集し、埋立処分をしています。ビールコーラびんなどは販売店に返還し、使用済の乾電池は、透明のビニール袋に入れて不燃ごみの日に出してください。

粗大ごみとは、引越しや買替え等でできた大きなごみのことです。予約制、有料扱いになっていますので、市環境課へ連絡してください。種類によって処理料金が違いますので、電気器具の買替え時などは業者に引き取ってもらうようにしましょう。

分別・定点収集も経費の節減に

ごみの早出し（前日出し）は隣近所に迷惑になりますし犬、猫、カラスなどが袋をやぶり、ごみを散乱させ、美観をそこなうことになります。ごみは、必ず収集日当日の午前8時までに出してください。

収集作業の効率を高めるため、ごみの戸別出しはやめ、おおむね15～20軒の割合で収集しやすい所へかためて出してください。ごみ置場に自動車が駐車していたりすると収集できない場合もありますので、広く空けておくようご注意ください。

作業効率を高め経費の節減を図り、市民サービスをより向上させるために定点・分別収集にご協力ください。

環境衛生週間の主な諸事業

9月24日から10月1日までは「環境衛生週間」です。城南衛生管理組合では「清掃週間」と位置付け、種々の取り組みが行われます。

9月24日午前11時から折居清掃工場（宇治市折居18）でリサイクル市や金魚すくい、ヨーヨーつりを開催。入場無料、空きかん3個持参。

9月30日には、午前10時からバスで回る清掃施設見学会を開催。希望者は城南衛生管理組合広報課（☎631―5171）へ申込を。定員50人、参加無料、昼食付。

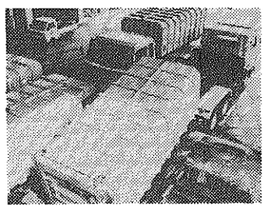
八幡市では、9月23日に市民代表によるごみ収集1日体験と、清掃標語入選者等の表彰を行います。

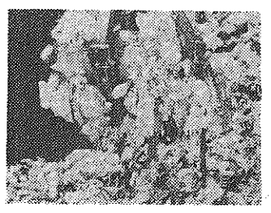
ごみを追っていくと

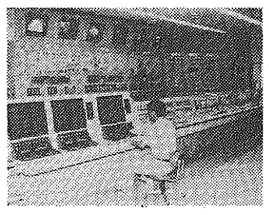
ごみは定められた収集日に定められた集積所へ。

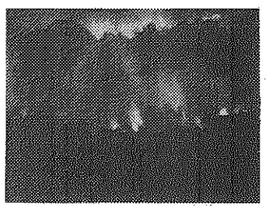
ごみ収集車20台で手ぎわよく収集します。

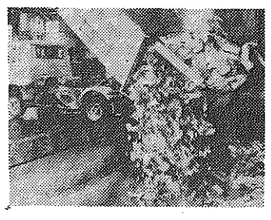
可燃ごみは、一度、沢ごみ中継所に運びます。

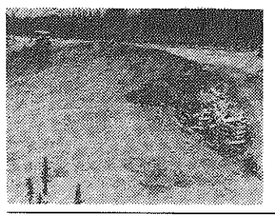

大型コンテナトラックに積み替えて折居清掃工場へ。


集められたごみは、ごみクレーンで焼却炉へ投入します。


工場の設備機器は、中央制御室で集中コントロール。


ごみは焼却炉で800～900度の高温で燃やします。


不燃、粗大ごみは奥山清掃工場の受入れホッパに投入。


不燃ごみや灰は奥山埋立地で埋立て処分します。

ごみ処理のあゆみ

昭和30年9月　ごみの投棄が町内の各所で目立つようになった。職員1人を採用して、道ばたや空地に投棄されたごみを4カ所に集めて野焼きを始める。これが市のごみ行政の出発点となる。

昭和32年9月　ごみの増加に伴い、自動三輪車でごみの収集を開始。収集したごみは、竹薮の肥料等に利用する。

昭和35年9月　町内（現男山美桜）にごみ焼却場を建設。1日5トンのごみを処理。この焼却場は、男山団地の建設に伴い46年に撤去。

昭和40年6月　八幡町（当時）・宇治市・城陽市・久御山町・宇治田原町の2市3町で組織していた〝し尿処理組合〟を〝城南衛生管理組合〟と改称し、ごみ焼却を業務に加える。

昭和43年8月　城南衛生管理組合のごみ焼却場（長谷山焼却場）が城陽市に完成し、操業を開始。これを機に、市のごみ収集を無料化。

昭和45年1月　不燃ごみの収集を委託で開始。

昭和46年4月　八幡町沢にごみ中継所が完成。収集されたごみはここに集めた後、長谷山焼却場に搬送。

昭和47年4月　可燃ごみ週2回収集。

昭和48年7月　不燃ごみ収集を市の直営に切替え。

昭和49年7月　城南衛生管理組合が長谷山清掃工場で焼却しきれないごみを枚方等に委託処理。55年3月まで。

昭和52年8月　大掃除実施時（8月・12月）に、大型ごみの収集を開始。

昭和53年3月　市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を制定。

昭和53年5月　〝清潔できれいなまちづくり運動〟がスタート。63年度で廃止。

昭和53年8月　不用家具の臨時収集を開始。

昭和54年8月　不燃ごみの収集を20日間隔に短縮。

昭和55年8月　粗大ごみを年2回（日曜日）収集。

昭和55年11月　川口東扇、西扇をモデル地区として空きびん回収実施。

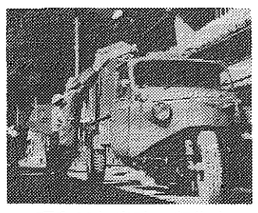
昭和56年3月　食用廃油を14ステーションで回収。

昭和60年5月　不燃ごみ月2回収集に短縮。

昭和61年3月　城南衛生管理組合の第2ごみ焼却施設として宇治市に折居清掃工場施設が完成。城陽市に粗大ごみを処理する奥山清掃工場施設が完成。

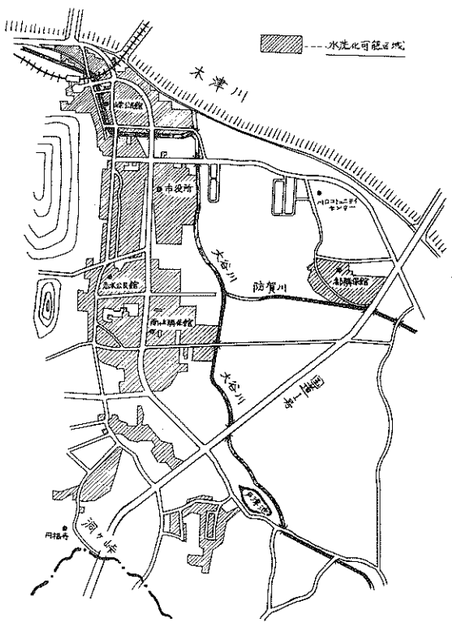
昭和63年3月　男山団地に食用廃油回収貯臓庫新設。

平成元年4月　不燃ごみ週1回収集。


昭和33年当時の収集車

空びん回収を実施

まだの家庭は早く水洗化工事を



八幡市では、文化的で快適な暮らしに欠かすことのできない下水道施設の整備に全力で取り組んでいます。

昭和61年3月31日に洛南処理区（八幡地区）の公共下水道が使えるようになって、既に3年を経過しています。この間、八幡中部、男山、橋本、下奈良汚水幹線が全線完成し、美濃山汚水幹線は開発地区を残してほぼ完成、川口汚水幹線も来年3月に完成する予定です。

本年6月末現在の処理区域内戸数は、1万6369戸、同人口は、5万3418人となっています。水洗化戸数は、1万4333戸で水洗化率は87・6%となっており、供用開始区域内（左図参照）で平成元年3月31日に供用を開始した戸数を含め約2000戸が、まだ水洗化工事が済まされていない状況にあります。

八幡市の公共下水道は、雨水と生活雑排水（雨水以外のすべての排水）を完全に分けて流す分流式を採用しています。台所・洗面所・浴室・トイレなどで使われた汚水は、汚水ますを通って汚水管に、雨どいの雨水は道路側溝などに流れることになります。

このことがしっかり守られていないと、汚水管に雨水が混入して、雨の日に処理場や汚水管に能力以上の負担がかかります。一方、せっかく下水道が整備されたのに生活雑排水が側溝や水路に流れ込み、下水道がその本来の役割を果たせなかったりします。

市が公共下水道を整備し、使えるようになると、一日も早くトイレの水洗化、生活雑排水を下水道管につなぐ改造工事をお願いしています。それは、地域の環境を改善するため、下水道が使えるようになった日から生活雑排水は遅滞なく、トイレは3年以内に水洗化工事を行うよう法律で義務付けられているからです。

下水道を使用するための改造工事は、市内の公認業者が代わって行います。公認業者は市へ工事の計画確認申請書を提出し、市が適正かどうかを審査しますので、業者間で費用が大きく異なることはありません。改造工事に要する費用は各家庭で負担していただかなくてはなりません。市では、下水道の効果を早期に発揮させるため、改造資金の融資斡旋をしています。

供用開始の地区や融資斡旋等詳しいことは、上下水道部下水道管理課（☎983・1111内線2338・2341）へお問い合わせください。

看護婦等の免許取得者で現在就業していない人は電話でご連絡ください。

調査にご協力ください

京都府は、看護婦（士）、准看護婦（士）、助産婦及び保健婦の資格（免許）を持ちながら、現在業務についておられない方を把握するための調査を実施しています。該当する方で、これまでの調査にご協力いただいてない方は、電話でご連絡ください。■連絡事項　氏名、住所、電話番号、生年月日、免許の種類　■連絡期間　9月1日～30日　■連絡先　八幡市役所衛生課（☎983―1111）

市民登場〈19〉

見えない恐怖克服

佐々木利行さん（43歳）八幡科手60

身スポ1500㍍走に出場

〝21分44秒〟　今年3月に開かれた「第6回視覚障害者京都マラソン大会」の5㌔コース男子全盲者の部で優勝。そして、今月30日と10月1日の両日、北海道札幌市で開催される「第25回全国身体障害者スポーツ大会」の1500㍍走に佐々木利行さんは京都府代表として出場する。

ハリ・灸（きゅう）・マッサージの治療院へ勤める佐々木さんの趣味はマラソン。奈良県に住んでいたとき、盲学校の先生が「青梅マラソン」に出場し、健闘しているのを見て感動。7年前から「自分でもやってみよう」と練習を始め、最近では、神奈川県小田原市で開かれたJBMA（日本盲人マラソン協会）主催の大会にも出場した。

盲人マラソンは、伴走者と50㌢ほどのひもを持ち合って走るというもので、「先を競って走るので、ぶつからないかとても心配」と見えない恐怖感をいかに克服するかがカギ。今は週に2～3回、木津川サイクリングロードで、優勝目指して10㌔の練習をこなしているが「良き伴走者の確保が一番難しい」とか。もちろん、人生の良き伴走者も。

お母さん しっかり持ってネ！

木工教室で本立てを作る親子（志水公民館）

ノコギリに苦戦

親子で力合わせて手作り作品

公民館講座

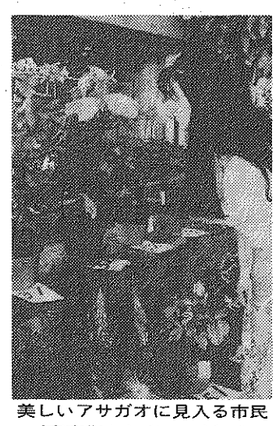
「夏休み親と子の手作り教室」（公民館講座）の〝木工教室〟が8月8日から10日までの3日間、市内各公民館などで開かれ、夏休みの宿題にもなるとあって5会場で57組が受講しました。

小学4～6年生とその親が対象で、宇治田原町森林組合の上江博司さんと田辺地方振興局農林課の松本登さんを講師に、杉の板を使ってマガジンラックや本立てなどを作りました。

図面を見て板に線を引き、親子が協力して切ったり、削ったり…。くぎ打ちまでできたものをバーナーの火であぶって焦がし、タワシでこすって出来上がり。志水公民館に参加した八幡月夜田の浜岡真人君（11）は「とってもおもしろかった。夏休みの宿題にする」と大喜び。慣れないノコギリに悪戦苦闘しながらも親子の大きなきずなが出来上がっていました。

木工教室は今年初めての取り組みですが、そのほか2年目を迎える陶芸教室は6会場で72組、折り紙教室は6会場で98組。また、3年目を迎えたペーパークラフト教室には6会場で51組の親子が参加しました。

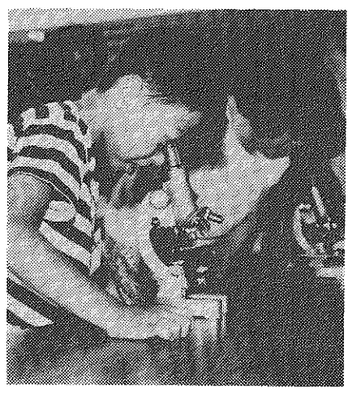
まちの話題



美しいアサガオに見入る市民（市文化センターロビー）

親子でサマースクール

わたしたちの住んでいるまち



顕微鏡で微生物を観察する参加者ら（洛南浄化センター）

夏休みを利用した「暮らしの子供セミナー」が8月1日から3日までの午後、市文化センターで行われ、市内小学校5、6年生の児童20人が、料理実習や実験学習などを体験しました。

初日は「知っておきたい暮らしの知識」と題して、市消費生活相談員の本郷富美江さんが「おこづかいの使い方」や「品物を買うときの注意」などを講演。2日目は「牛乳を使った手づくりおやつ」をテーマに、栄養士の山口真澄さんを講師に招いて「クレープ」「ミルクわらびもち」「すいかパンチ」など簡単に作れるおやつを料理実習。最終日は「知っているかな？食品添加物」と題して、市児童課栄養士の中内準子さんが、酢と毛糸を使った「アメの人工着色料」の実験や、試験紙を使った「サツマイモの発色剤」の実験などを交えながら、食品添加物の話をわかりやすく説明しました。

3日間通して参加した子供たちは、手作りおやつに舌鼓を打ったり、着色料実験でびっくりしたりと、賢い消費者への第一歩を心に刻み込みました。

牛乳使いおやつ作り

子供たちも賢い消費者に

暮らしの子供セミナー

おやつ作りに挑戦する参加者ら（市文化センター）

西村市長にグランプリ受賞を報告する団員ら

涼を呼ぶ80鉢

八老連主催第19回朝顔展

赤、紫など色とりどり

夏の涼を呼ぶ第19回朝顔展（市老人クラブ連合会会員部主催）が8月1日から3日まで、市文化センターロビーで開催され、会員が手塩にかけた80鉢がその美しさを競いました。

出品されたのは、あんどん作り37鉢、切込作り43鉢。品種は「赤竜」「紫雲」「門珠」などで、直径が15㌢ほどある大輪や、12個も一斉に咲いた切込作りなど、赤色や紫、青など色とりどりに咲きそろいました。

「設定した日に、いかに下のほうで咲かせるか」（あんどん作り）、「鉢の中で、いかに多くの大きな花を咲かせるか」（切込作り）などを中心に、谷村和平会長らが審査を行いました。

市長特賞は西田清秋さん

同展入賞者の表彰式が8月3日、市役所会議室で行われました。西村市長は「かれんな花を思わせるように女性が4人も入賞された。今後も良き指導者、リーダーとして、市民に花づくりを広めてほしい」とあいさつ。10人の入賞者に表彰状やトロフィーなどが贈られました。

入賞者は次のみなさん。

（順不同・敬称略）

【市長特賞】西田清秋（下奈良）…切込作り　【社会福祉協議会長特賞】道本幸子（戸津）…あんどん作り　【市職員労働組合努力賞】関通夫（八幡馬場）…切込作り　【市長賞入賞】　芦原治夫（八幡高坊）、沢村信一（八幡長谷）、吉川フミ（八幡福禄谷）…以上は切込作り、佐野雪子（戸津）、佐野サヨ（同）、石井正三（八幡長田）、吉川忠吉（八幡長谷）…以上はあんどん作り

すこやか協へ防犯啓発看板

八幡ロータリーから寄贈

京都八幡ロータリークラブ（松永武会長、36人）から8月8日、「八幡市の少年をすこやかに育てる市民協議会」（会長・伊佐重輝教育委員長）へ防犯啓発用看板6枚が寄贈されました。

看板は縦170㌢、横45㌢で、黄色地に黒字で「子供を守ろう魔の手から」と書かれており、同協議会では早速、男山第二中に2枚、男山第三中や八幡小、中央小、有都小に各1枚を配布しました。

配布を受けた男山第二中では8月9日、岩成功同協議会二中ブロック会長や瀬理敦子二中育友会副会長らが、校区内の男山弓岡地区＝写真＝とくすのき公園にそれぞれ取り付けました。

寄付

◆三田屋くずは店から8月3日、店内に設置していた募金箱に集まった来店者の善意577５円を市に寄付していただきました。今回で5回目。計6万1681円になります。ありがとうございました。

火災・救急統計

元／1～7累計（7月のみ）		63／1～7累計
救急件数 827件	（ 119件）	868件
搬送人員 884人	（ 124人）	918人
火災件数 9件	（ 0件）	19件

おかあさんコーラスで グランプリを獲得

八幡市女声合唱団

8月27日に広島市の広島厚生年金会館で開かれた第12回全日本おかあさんコーラス全国大会（全日本合唱連盟など主催）で、八幡市女声合唱団（山本壽太郎指揮、田島禮子代表、団員53人）がみごとグランプリを受賞、日本一の栄冠を勝ち取りました。

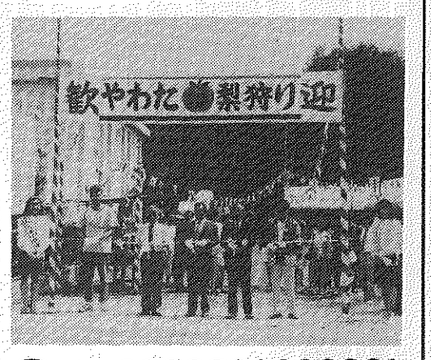
大会には、全国から選ばれた35団体約1300人のおかあさんたちが参加。家事や仕事の合間に続けた練習の成果を競いあいました。

山本さんと団員らは29日午前、市役所を訪れ、西村市長に成果の報告を行いました。

「今年の選曲はむずかしかったが、みんな頑張ってくれてよかった」という山本さんらに西村市長は「市にとっても非常に名誉。音楽都市八幡にふさわしい快挙です」とみなさんの労をねぎらいました。

ナシ狩りオープン

秋の味覚



テープカットをする関係者ら

初秋の味覚の到来を告げる川口地区の「やわたのナシ狩り」が8月17日オープン。京都イングリッシュセンターと京都国際学生の家の留学生ら23人を招待して、関係者ら約60人が川口コミュニティセンター横の梨園事務所で開園式を行いました。

式では、主催者の市梨果組合梨狩部会の西川勉部会長が「おいしいナシを十分味わってください」とあいさつ。来賓の西村正男市長や吉田明観光協会長が「自然の恵恵を忘れず、秋の味覚をかみしめてほしい」と祝辞を述べ、花火を打ち上げてテープカットを行いました。

式のあと、ナシ園に案内された留学生らは早速、フレッシュなナシを賞味。アメリカ人のサラ・フォスターさんも「おいしい！」と取りたてのナシを味わっていました。

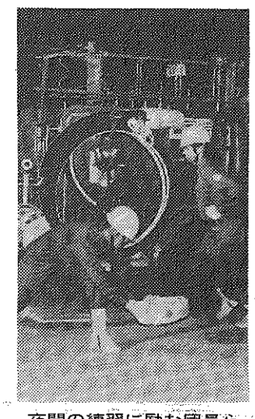
「ナシ狩り」は今月30日までの毎日、午前9時から午後4時まで開園。入園料は大人800円、小学生～4歳600円、25人以上団体1割引。問い合わせは梨園事務所（☎982・4574）。

息切らし操法大会向け練習

今月10日に田辺中学校（田辺町）で開かれる第10回京都府消防協会綴喜支部消防操法大会を目指して今、市消防団の夜間の猛練習が八幡東小学校で行われています。

この操法訓練は、実際の消火活動を想定してポンプの始動操作、ホースの延長、伝達などがいかに正確に、また速くできるかを競うもの。本市からは第二分団第一部（三区地区、中村政夫部長）の選抜チーム5人と、第三分団第一部（岩田地区、藤原邦男部長）の選抜チーム4人が市代表で出場します。

練習は、6月下旬から2日に1回実施。一日の仕事を終えた午後8時から2時間、市消防本部職員の指導を受けながら、正確さ・機敏さ・速さを身につけようと真剣な表情で練習を繰り返しています。



夜間の練習に励む団員ら

やわた文芸

俳句

石段を曲り下りて滝見上ぐ　下奈良二階堂　菱田　清子
夏空に民の祭典大文字　八幡三本橋　河野　芳子
佛舎利に今宵銀砂の星月夜　橋本栗ケ谷　小川　義勝
純潔の乙女の笑みや沙羅の花　橋本栗ケ谷　小川　米子
くらやみや川面に映る大文字　男山吉井　山本　敏夫
炎天下喜前に捲けし菊薫る　橋本堂ケ原　岡本かね子
秋暑し今朝も鴉の焼けた声　八幡北浦　土谷　治男
まん月や川面に映えし松ゆらぐ　八幡柴座　岡本あや子
朝顔や今朝も数えぬ幾度も　男山長沢　富永　健郎
夏柳裏も表も翻返す　下奈良二階堂　菱田　清子

短歌

小猫らに兄弟喧嘩すなと言う尼僧の声に一茶を思へり　八幡神原　安田　とよ
敗戦の影消ゆる今も芋粥のなお懐かしく赤芋を買う　八幡園内　船橋　好子
はごろものみどりにはゆる地獄谷風にさそわれ湯煙匂う　八幡岸本　大槻　延子

【募集】　短歌、俳句、川柳の作品を募集。作品には住所、氏名、電話番号を必ず記入し、〒614八幡市八幡園内75、八幡市企画部秘書広報課作品係へはがきで。締め切りは毎月20日まで。

志水池釣り人去りて風渡り立つさざ波に夕陽がきらめく　八幡小松　宍戸　光夫
民も泣く浮き世の歌を残し去る天才ひばりのさだめ悲しき　八幡三本橋　河野　芳子
抜群の歌の人生生きぬいた美空ひばりの貴い命　八幡大谷　森口　あい
同窓の訃報を聞きし吾悲し今日一生と強く生きぬく　美濃山宮ノ背　棚橋ゆみ子
山もよし海もまたよし故郷は町ゆく人のいとなつかしき　橋本栗ケ谷　小川　義勝
離れ住む夫の生活を案じつつ院の朝餉に両手合せり　橋本栗ケ谷　小川　米子
有難う一言残し逝きし夫木枯の夜我を残して　橋本堂ケ原　岡本かね子
われ十九モンペのひざに涙して「玉音放送」聞きし日巡る　男山泉　衛藤みさを
一望の植田なぎつゝ夏真昼青葉若葉の風渡る見ゆ　下奈良二階堂　菱田　清子
人生も夏の夜空に咲く花火燃ゆるがごとし華やかさかな　橋本平野山　本郷　弥香

川柳

頭にのりて立場誤魔化す影法師　八幡三本橋　河野　芳子
すだれ吊る男手ほし後家ぐらし　美濃山宮ノ背　棚橋ゆみ子
仁徳帝嘆かす自民の消費税　橋本栗ケ谷　小川　義勝
宇野天下六十八日泡と消え　橋本栗ケ谷　小川　米子
積ん読を悔むひまなしこの睡魔　八幡北浦　土谷　治男
夏休みがんばる子供母昼寝　橋本平野山　本郷　弥香

おめでとうございます

平成元年7月届出分

出生

地区	本人	届出人
男山弓岡	尾高　彩音	律雄
男山石城	定塚　奈子	章治
八幡吉野	家村　直道	宣成
橋本栗ケ谷	山本多香穂	剛
八幡中ノ山	中東　仁	正仁
男山弓岡	高野　博奈	博
男山長沢	原田　龍	和美
八幡垣内山	竹嶋摩利子	健二
八幡安居塚	鈴木由利香	順治
男山竹園	清水　瑛子	満矩
八幡軸	山本　和奈	俊明
上津屋浜垣内	菊岡佳奈映	照晃
八幡源氏垣外	愛甲　裕磨	正広
八幡軸	中野絵美子	俊二
戸津谷ノ口	井手上　晃	安彦
男山香呂	森口　昌	陽
男山長沢	岡田　梨奈	隆志
男山香呂	山崎　裕太	裕和
男山弓岡	濱田　繭子	信義
橋本栗ケ谷	小田　和輝	幹夫
八幡中ノ山	奥山　祐士	修
男山香呂	高橋亜紗美	亙
男山美桜	今村　景	滋
八幡柿ケ谷	田口　義嗣	宗義
男山石城	櫻田　直也	強
男山弓岡	成田　仁美	静治
男山八望	植田　優平	洋矢
八幡双栗	笹原　崇志	祐一
川口堀ノ内	奥村　奈央	新司
男山雄徳	池戸　雅也	直志
八幡三本橋	上野　雄晃	良和
男山香呂	中嶋　紘子	一雄
男山八望	山野由希子	亨
男山笹谷	田井　綾乃	成徳
橋本新石	山口　直人	猛典
男山笹谷	安藤　知夏	治男
男山長沢	兒林　大生	伸一
男山弓岡	柴田　薫	剛
上津屋浜垣内	松田　好司	孝夫
男山香呂	小松　修士	純
八幡双栗	井筒　雅人	豊
男山笹谷	冨塚　由次	由昌
男山笹谷	玉井　拓人	栄一
男山八望	尾田　紗彩	憲治
八幡吉原	山田真理子	秀明
八幡源氏垣外	木村　美都	易史
男山松里	家村　青依	宏行
八幡吉原	寺本　和矢	勝巳
男山弓岡	山口絵梨香	俊明
八幡三反長	小林　省里	達也
男山弓岡	藤本　ナミ	隆
男山笹谷	岡本　翔平	拓也
美濃山幸水	向永　真也	洸一
八幡小松	大川笑美子	保
男山石城	松本麻佐子	泉
男山竹園	菅　弘	五弥
美濃山幸水	上田　真由	尚一
男山石城	巌　未来	徹
橋本北ノ町	酒井　雄介	宏昌
男山笹谷	堀部　麻祐	喜雄
八幡垣内山	高田　雄太	新一
男山八望	坂本　隆	正和
男山笹谷	森永　絢子	浩太郎
八幡月夜田	村田　道哉	龍也
橋本愛宕山	佐々木正高	道高
男山美桜	小石　晃子	慎一
男山香呂	能勢　幸	眞一郎
戸津御幸谷	永井　萌子	浩

6月届出の前月掲載分にもれがありました。おわびして掲載します。

地区	夫	妻
男山吉井	森山　克実	知念　里美
八幡今田	柴田　功	岩崎真奈美
男山弓岡	木原　仁	成合　美絵
男山笹谷	関　周平	酒井　佐子
八幡山田	津留嘗正浩	徳永しのぶ
男山石城	水本　勝	重塚　京子
戸津奥谷	浜中　洋一	辻田　京子
男山香呂	西川　久和	山本　美穂
男山香呂	大和　明	米原　弘子
男山笹谷	下村　芳樹	奈良　貴子
男山石城	山本　寿夫	田代奈緒美
男山香呂	塩田　弘孝	野村小百合
男山石城	越智　眞吾	垣生　益江
男山八望	大住　博昭	土井眞寿美
男山石城	濱口　幸生	西田　弥生
男山弓岡	赤澤　博行	大西美也子
男山香呂	黒田　静男	ティーフラック・セーンラビー
八幡福禄谷	冨永　和浩	松下　千代
八幡今田	前田　宗和	楠　明美
男山吉井	田橋　正和	服部　直子
橋本狩尾	小林　範之	前川　京子
八幡高坊	山本　浩也	辻本　則子
男山松里	勝又　英朗	村上真奈美
八幡柴座	小川　秀則	松浦　訓子
男山弓岡	畠山　功一	小西　陽子
男山石城	坂口　栄司	細見　由美
男山八望	赤星　文彦	入江　容子
八幡月夜田	矢口　達則	尾崎　通子
八幡北浦	船山　賢一	林　文恵
八幡山下	大八木　満	門田　澄子
男山香呂	塚本　博文	谷井　香代

結婚

'89 行事コーナー 9月

相談ごと

法律相談〈予約制〉	5日（火）、19日（火）、26日（火） 13：00～16：00 市役所1階相談室
心配ごと相談（人権・行政）	10日（日）、25日（月） 10：00～16：00 市役所1階相談室
年金相談	6日（水）、20日（水） 13：00～16：00 文化センター2階第1会議室
家庭児童相談室出張相談	12日（火）、28日（木） 10：00～15：00 男山公民館
老人健康相談	28日（木） 9：30～11：30 八寿園

各種行事等

人形劇のつどい	10日（日）、入場無料 13：00～15：00 八幡小学校体育館
まちを知る会〈予約制〉	28日（木） 9：00～16：00 市内
妊婦の歯科健康診査	28日（木） 13：30～14：30 母子健康センター

市民の本棚　新着図書の紹介

児童図書室

《よみもの》

「黒いめんどりと地下のこびとの物語」
A・ポゴレリスキー著

アリーシャは10歳たらずの男の子。両親に寄宿学校にあずけられ、さびしい日々を送っていた。そんな彼の唯一の友達は、彼がおやつ所を助けて以来、心を通わせることができるようになった、めんどりのクロだった。ところが、めんどりは仮の姿で、クロは、地下に住むこびとたちの一人だった。クロを助けたお礼にと、こびとの王さまから、勉強もせずに問題がとけるという麻の種をもらったアリーシャは、大喜びでそれを使うが、いつしか、地下に住むこびとのことは決して口外しないという約束を忘れ、しゃべってしまう。すると、どうだろう、麻の種のふしぎな力は失せてしまい、大の友達、クロをもアリーシャは失なってしまうことになる。

（小学上級から）

成人図書室

Vの悲劇　阿刀田高

黄昏のストーム・シーディング　大岡玲
栄光遥かなり　落合信彦
夢一夜・火星人記録　北杜夫
ワイングラスは殺意に満ちて　黒崎緑
黒鯨記　神坂次郎
鳥にされた女―自選短篇集―　河野多恵子
波太郎放浪記　高橋治
うつつを抜かして―オトナの関係―　田辺聖子
下天は夢か　津本陽
なぜか、海　永山則夫
赤い氷河期上・下　松本清張
丸山健二百選短篇集　丸山健二
浄土　森敦
白河夜船　吉本ばなな
黄色い猫　吉行理恵
なそがれ色の微笑　連城三紀彦
断然欠席　阿川弘之
昭和の晩年上・下　井出孫六
母なる大地　加賀乙彦
男はみんなハムレット　吉行和子
大いなる復讐　シルベール・グルレ
その夜の嘘　ジェスアルド・ブファリーノ
死がお待ちかね　ベコーニャ・ロペス
海外報道に見る昭和天皇　朝日新聞社編
コウモリであるとはどのようなことか　トマス・ネーゲル
絵で見るフランス革命　イメージの政治学　多木浩二
平成維新　大前研一
これからの基調の読み方　長谷川慶太郎
被差別部落の暮らし　田宮武編
父は子へ何を伝えられるか　斎藤茂太
「高校」が変わる　ホーキング、宇宙を語る　S・W・ホーキング
尾瀬　花畑日尚

参考図書室

アトラス現代世界　昭文社
日本の公害史　神岡浪子
原発大情報　三一書房
《音楽》
カラヤン自伝を語る　カラヤン
なんたってモーツアルト　砂川しげひさ

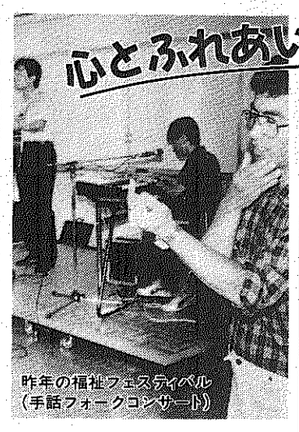
図書館の利用案内

◎所在地　八幡薗蒲池11（☎982-7322）
◎開館時間　火・水・木・金＝午前10時～午後7時。土・日＝午前10時～午後5時。
◎休館日　毎週月曜日、祝日、毎月最終木曜日、特別整理期間。
◎貸し出し　4冊まで2週間借りられます。

総合開会式
第5回 市民総合体育大会

■日時　9月10日　午前9時30分～
■会場　八幡市民体育館
○だれでも気軽にできる「ソフトバレーボール」のデモンストレーションを行いますので、多数ご参加ください。

心とふれあいの 福祉フェスティバル



昨年の福祉フェスティバル（手話フォークコンサート）

社会福祉協議会ボランティアバンクと八幡共同作業所では、恒例の福祉フェスティバルを開催します。今年は授産施設の建設資金集めの手助けをしようと、その名も〝心とふれあいのチャリティ福祉フェスティバル〟としました。

《バザー会場》
■とき　9月16日（土）午後1時～4時、9月17日（日）午前10時～午後3時
■ところ　文化センター展示室ほか
《フェスティバル会場》
■とき　9月17日（日）午前10時～午後3時
■ところ　福祉会館
■催し　▽イベント広場―琴演奏、フォークコンサート（古川豪氏・デラシネ）、チャリティオークション（手話漫才、クイズ大会）▽おもちゃの広場▽語らいの広場▽その他―福祉の店、野菜市模擬店など、多彩な催し
◆問い合わせ　社会福祉協議会（☎983・4450）

基礎体力養成 トレーニング

参加者個々に合わせた健康づくりや各種のスポーツ別トレーニングの健康相談を中心に行います。

■日程　9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、1月14日、各日とも午後3時30分から5時まで
■対象　市民体育館トレーニング講習会終了者。人員20人
■参加費　1500円
■申込締切　9月8日必着

エアロビクスダンスコース

自己による健康管理・運動継続を最終目標とし、適正運動量を判断できるようにリズム・ベース作りを行います。

□日程　9月22日～1月17日までの毎週金曜日、連続8回、午前10時～11時30分
□対象　市内在住または在勤の女性。募集人員30人。
□参加費　500円
□申込締切　9月11日必着

ストレッチ&エクササイズ

ローインパクト・エアロビクスを通して、運動、健康の意識を高め、運動のリズム・ベース作りを行います。

■日程　9月20日～1月8日まで毎週水曜日、連続8回、午前10時～11時30分
■対象　市内在住または在勤の女性。募集人員30人。
■参加費　500円
■申込締切　9月11日必着

体力テストで健康チェック

日常生活の基本となる体力を確かめ、自分に適した運動を規則正しく行い、体力の維持増進を図ることを目的に実施します。

□日時　10月8日（日）午後1時～
□対象　市内在住・在勤者
□参加費　無料
□内容　①反復横とび②垂直とび③握力④ジグザグドリブル⑤急歩
□申込締切　10月7日必着

◎会場　八幡市民体育館
◎申込み・問い合わせ　はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号と希望の教室（行事名を記入し、市公園施設事業団（野尻正畑12☎981・6111）へ各締め切り日までに申し込み下さい

スポーツの秋到来！ フィットネススクール

点訳奉仕員の養成講座 受講者を募集

初心者歓迎

本や新聞の点訳を通じて、目の不自由な人たちに情報を提供しようと、府視覚障害者協会八幡支部では、昨年に引き続き「点訳奉仕員養成講座」の受講生を募集します。

目の不自由な人たちにとって、点訳は情報収集の大切な手段のひとつです。この講座では、初心者の方でも簡単な文章が点訳できるように、点字器の使い方や50音についての学習など、点字の初歩から勉強しますので、お気軽にお越しください。

■日時　9月13日から平成2年2月28日までの毎月第2、第4水曜日（ただし、12月27日は12月20日に変更）、各日とも午後1時15分～3時15分
■会場　男山公民館
■受講料　無料
■申込み　9月13日までに電話で市福祉課へ申し込みを
◆問い合わせ　福祉部福祉課（☎9883・1111）

土地取引の届出対象面積引下げ
―300m²以上の取引は届出を―

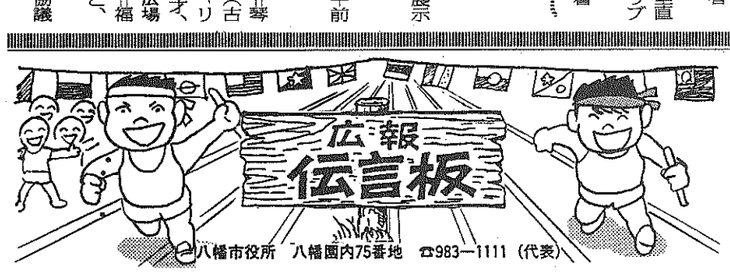
関西学術研究都市区域及び京都市近郊南部における地価の高騰を抑制する対策として、八幡市も国土法に基づく監視区域の指定を受けることになりました。

このことにより、市内の市街化区域では300平方㍍以上（現行2000平方㍍以上）の土地の取引について、届け出が必要となりました。

監視区域の指定期間は平成元年8月28日から平成5年3月31日までです。

なお、市街化調整区域内の土地取引に伴う届け出は従来どおりで変更はありません。

◆問い合わせ　建設部都市計画課（☎9883・1111内線3330）



八幡市役所　八幡園内75番地　☎983―1111（代表）

催し

「源氏物語」を楽しく学ぶ
婦人大学講座を開設

市教育委員会と市婦人会では、市内在住の女性を対象に行う婦人大学講座の受講者を募集します。テーマは「源氏物語」です。

▼日時　10月4日（水）、11月8日（水）、12月6日（水）各日とも午後1時～3時
▼場所　文化センター3階
▼参加費　一般300円（当日徴収）
▼参加方法　当日直接会場へ
◆問い合わせ　市教委社会教育課（☎市役所内線372）

市民写生会の参加者を募集
ふるさと八幡を描こう

すがすがしい空気を満喫しながら、ふるさと八幡を描いてみませんか。

▼日時　10月8日（日）、午前10時～午後4時（雨天時は15日に順延。退出自由）
▼会場　市役所、文化センター周辺一帯
▼対象者　全市民（子供の場合は大人が同伴のこと）
▼参加費　無料
▼参加要領　①当日午前10時に文化センター前に集合、同所で受付け。②各自好みの描画用具（水彩、油彩、墨彩他）を持参のうえ、自由に写生。③希望者には絵画部員が助言します。
▼合評　3時から現地で実施
▼展示　本人の希望により市民文化祭絵画展に展示
◆問い合わせ　文振会画部会山田（☎981・4755）

第26回戦没者追悼式を開催
文化センター小ホールで

市では、11月19日(日)午前10時30分から市文化センター小ホールで、第26回八幡市戦没者追悼式を挙行します。

この追悼式は、戦没者に対し追悼の意を表わすことと、これを機に平和の尊さを改めて考え直し、さらにこれを後世への財産として守り続けるために実施するものです。

詳しくは、遺族の方々に後日ご案内を差しあげますが、戦没者の遺族でありながら、市に届け出ておられない方は、はがきに戦没者氏名及び遺族代表者の住所、氏名、続柄、電話番号を記入して10月6日（金）までに市福祉部福祉課（八幡園内75）へ。

◆問い合わせ　福祉部福祉課（☎市役所内線231）

からだにいいことしませんか
第4回健康体操のつどい

健康体操連盟では、ストレッチやエアロビクス運動等を取り入れた「健康体操のつどい」の参加者を募集します。

▼日時・場所　9月18日(月)＝志水公民館、9月19日(火)＝山柴公民館、9月21日(木)＝橋本公民館・山柴公民館、以上各日午前10時～正午、9月22日（金）＝橋本公民館、午後7時～9時30分
▼参加方法　当日直接会場へ
◆問い合わせ　松原（☎981・7075午後5時～10時）

動物の相談コーナーを開設
動物愛護週間に実施

府獣医師会では、動物愛護週間中の行事として「動物・犬・ねこの健康相談コーナー」を無料で開設します。

▼日時　9月20日（水）午後1時～3時
▼場所　田辺保健所
◆問い合わせ　田辺保健所（☎07746・3・5745）

洛南浄化センター施設公開
9月9日、10日の2日間

府下水道公社では、第29回全国下水道促進デーに合わせて、木津川流域下水道洛南浄化センターの施設公開を行います。

▼日時　9月9日（土）、10日（日）午前9時～午後4時
▼場所　洛南浄化センター（八幡焼木1）
▼内容　施設案内は午前10時から午後2時から、映画の上映、パネル等の展示など
▼その他　記念品を進呈
◆問い合わせ　洛南浄化センター（☎632・1433）

その他

戦没者遺族に弔慰金を支給
該当者は市福祉課へ

昭和60年4月1日から平成元年3月31日までに、公務扶助料（恩給）や遺族年金などを受給していた戦没者等の妻、父母等が失権した場合に、残った遺族（戦没者死亡当時の遺族のうち最も順位が先の一人）の人に第5回特別弔慰金として、額面18万円の国債（6年償還無利子）が支給されます。該当される人は、福祉課までお問い合わせのうえ、平成4年6月27日までに請求手続きを行ってください。

なお、前回の第4回特別弔慰金の支給対象となった人は前回未請求であっても、請求できません。

◆問い合わせ　福祉部福祉課（☎市役所内線230）

商業統計調査にご協力を！
一般飲食店を対象に実施

通商産業省では、平成元年10月1日現在で商業統計調査（一般飲食店）を実施します。この調査は、全国の飲食店（一般飲食店）の実態を明らかにすることを目的としています。この調査の結果は、前年実施した商業統計調査（卸売業、小売業）と併せて、国や都道府県、市区町村における商業の育成、流通機構の近代化などの施策を進めるうえでの重要な基礎資料として多方面で利用されるだけでなく、個々の商店が経営指針を作る際にも役立っています。

調査は、都道府県知事から任命された商業統計調査員が商店を直接訪問し、調査票を渡して必要な事項を記入していただき、後日回収するという方法で行います。

提出された調査票は、統計法により厳重に秘密が守られ、統計作成の目的以外には一切使用いたしませんので、正確にご報告くださるようお願いします。

◆問い合わせ　企画部企画課（☎市役所内線315）

国民年金払込みは口座振替
申込みは指定金融機関で

口座振替なら金融機関で一度手続きをするだけで、納期限を気にする必要もなく、納め忘れや払い込みのために出かける必要もなく自動的に毎月納めることができます。

申込手続きは、預金口座のある八幡市指定金融機関、または八幡市収納代理金融機関（郵便局を除く）へ納付書、預金通帳、印かんを持参のうえ申し込みください。

◆問い合わせ　市民部国保年金課（☎市役所内線235）

年金保険料の納め忘れは？
年金の「納付は義務」

国民年金保険料の納め忘れがある人、このような場合はないですか。

●自分の年金のことだし、他人には迷惑をかけないと思っている人へ　あなたの納める保険料は、あなたの年金として返ってくるだけでなく、現在受けている人々の年金の財源ともなっています。保険料の未納は、他の人々の負担を増やす結果になることも忘れないでください。

●年金に関心がなく、納めなかったという人へ　必ず年金の必要な時期が訪れます。自分のためにも年金制度全体のためにも「納付は義務」でもあります。

●失業・病気などの理由で、収入がなく納めることができない人へ　保険料の免除制度があります。放っておくと未納になりますので、国保年金課国民年金係までご相談ください。

◆問い合わせ　市民部国保年金課（☎市役所内線235）

あげる手に　ほほえみがえしで　待つゆとり

重点活動
●歩行者、自転車利用者の交通事故防止
●若年運転者による無謀運転の防止
●高齢者の交通事故防止
秋の全国交通安全運動　9/21～9/30

名月観賞のタベ

とき　9月14日午後6時～8時
ところ　老人憩いの家　八寿園
対象　60歳以上の市内在住者

◎無料月見バスを運行。雨天時も実施。

《月見バス時刻表》

福祉バス 停留所名	迎え時間	送り時間
戸津	17:37	20:23
内里農協前	17:41	↑
内里南ノ口	17:43	
西岩田	17:45	
野尻	17:47	
浜上津屋	17:48	
上津屋	17:49	
上奈良	17:52	
八寿園	18:03	19:50
八寿園	18:10	20:30
走上り	18:13	
市役所前	18:14	
八幡小学校前	18:15	
旦所	18:17	
ごん平前	18:18	
橋本奥ノ町	18:22	
橋本公民館前	18:25	
塩釜	18:26	
石ヶ谷・明野	18:28	
橋本小学校前	18:29	↓
八寿園	18:35	20:55

マイクロバス 停留所名	迎え時間	送り時間
八寿園	17:30	20:25
下奈良	17:42	↑
川口	17:44	
小西	17:45	
園内	17:48	
小学校前	17:50	
市役所前	17:51	
長田	17:52	
広門	17:53	
八寿園	17:55	20:00
八寿園	18:00	20:57
南山	18:03	↑
金右ェ門	18:06	
本郷	18:10	
香呂（長谷）	18:16	
しで原口	18:17	
第二小学校	18:18	
長沢	18:21	
雄徳	18:24	
八寿園	18:27	20:30

よりよい暮らし 消費者コーナー

消費者コーナー ☎983―1111 内線256

〈8月の物価調査結果〉

番号	調査品目	規格・容量	平均値	前月比	前年比	市外平均値
1	食パン	1斤・6枚切り	149	3.5	1.4	158
2	即席ラーメン	100g・袋入り	70	1.4	2.9	65
3	マヨネーズ	300g・ポリ容器入り	208	△0.5	2.0	203
4	ケチャップ	300g・ポリ容器入り	224	0	13.7	216
5	サラダ油	700g・ポリ容器入り	288	2.5	2.9	300
6	白砂糖	1kg・袋入り	237	△2.5	△3.3	225
7	みそ	1kg・袋入り	350	0	5.1	328
8	インスタントコーヒー	150g・ビン入り	853	△0.2	△3.3	847
9	牛乳	1ℓ・紙パック入り	201	2.0	5.2	182
10	バター	225g・箱入り	370	△1.6	4.5	363
11	小麦粉	1kg・袋入り	197	1.0	2.1	192
12	しょう油	1ℓ濃口・ポリ容器入り	255	3.7	9.4	230
13	牛肉	100g・スライス・中	273	0.4	△2.8	317
14	豚肉	100g・スライス・中	147	5.0	21.5	165
15	ハム	100g・プレスハム・中	158	3.9	12.9	137
16	塩サケ	100g・紅サケ・中辛	369	3.7	17.1	358
17	海老	100g・無頭・約8cm	296	15.2	33.9	206
18	鶏卵	10個パック・Mサイズ	138	△6.1	34.0	141
19	キャベツ	1kg	168	8.4	55.6	192
20	たまねぎ	1kg	158	1.3	19.7	201
21	じゃがいも	1kg	213	1.4	6.0	313
22	きゅうり	1kg	288	△13.0	7.1	586
23	トマト	1kg	400	△12.5	△0.2	690
24	洗濯用粉石けん	1kg	344	△1.1	0.3	304
25	台所用洗剤	380mlポリ容器入り・中性洗剤液状	170	0	3.0	161
26	台所用ラップ	幅30cm・長さ20m・塩化ビニリデン製	223	2.8	5.2	183
27	トイレットペーパー	55m・4個入り	226	1.3	15.9	245
28	ガソリン	1ℓ・レギュラー・現金売り	118	0	7.3	―
29	軽油	1ℓ・現金売り	66	0	0	―
30	灯油 持ち帰り	18ℓかん入り	661	3.9	△3.2	―
	灯油 配達料込み		661	0.5	△4.3	―

（価格単位・円　比率単位・%）

暮らしの物価情報

◆電気製品　①電子ピアノ3万円②パソコン5千円③掃除機3千円④炊飯器3千円⑤カセットデッキ4千円⑥オーブントースター8百円⑦ルームクーラー1万円⑧エレクトーン50万円⑨ガスオーブン1万円⑩扇風機4千円他⑪冷蔵庫千円
◆家具　⑫事務机5千円⑬食卓3点セット3千円
◆ベビー用品　⑭コンビラック5千円⑮ベビーキャリア4千円⑯ベビーカー3千円
◆その他　⑰和文タイプライター10万円⑱FRPボート5万円⑲写真現像機一式5千円⑳男児用自転車無料㉑卓球台1万円㉒マタニティドレス5千円㉓和文タイプ10万円㉔ミシン5千円㉕団地用アミ戸3千円

◇自転車（女児用、女性用三輪大人用変速付）◇洗濯機◇三輪車◇卓球台◇ベビーバギー◇すべり台◇ブランコ◇A型ベビーカー◇団地用アミ戸◇犬小屋◇整理棚◇パソコン◇カラーテレビ

以上を安価で譲ってください。

◇　◆　◇

このコーナーに掲載している品物に対するお問い合わせは、市消費者コーナー（☎市役所内線256）へご連絡ください。

このコーナーのほか、市役所1階ロビーに「不用品情報板」を設けて、新しい不用品情報を提供していますのでご利用ください。

暮らしのリサイクル

保証人・連帯保証人

昔から、「一生のうち3回は、人の保証人をしなければならない」とか、「3組の仲人をすれば、人間として一人前である」などと、人からの信頼度をあらわす、尺度とされていました。

しかし、保証人になったばかりに、家や土地など、全財産を失ったり、一家離散になったケースも少くありません。

《保証人になるのなら》
・借主の資力と人柄をみる
・貸主の保証条件を知る
・何の保証人か（商品・金銭）など、保証人欄に記入する前に、内容をしっかり読んで、借主が支払い不能な場合でも、本人に代って支払えるかを考えて保証人になるべきです。

「絶対、迷惑はかけない」と、借主との約束があったとしても、借主が、支払不能になれば、貸主と保証人との間に借主と同様、契約が成立し、支払義務も生じてきます。

保証人と連帯保証人の責任の取り方の違いを知っていますか。

《保証人には》
・催告の抗弁（民法四五二条）貸主が保証人に支払いを請求した場合、先に借主本人に請求するよう、主張できる。
・検索の抗弁（民法四五三条）保証人に、貸主が財産を差し押えようとしたとき、借主本人に資力があることを証明して、先に借主に強制執行するように要求できる。しかし、連帯保証人の場合、これらの権利はなく、借主本人と全く同じことだと考えなければなりません。

保証人・連帯保証人どちらにせよ、責任はかなり重いものですから、安請け合いは、絶対禁物です。

暮らしの情報板

◇航空3社に再警告

公正取引委員会は、日本航空、全日本空輸・日本エアシステムが、旅行業者が販売する、ほぼ全てのパック旅行割引料について、運輸省の認可事項でない、最低販売価格を設定し、それ以上の料金で販売するよう業者に指示、引き上げを図っていた疑いがあるとして、独禁法19条違反容疑で警告した。警告は2回目である。

◇通販業界が内税方式へ

消費税見直し論議の中で、内税方式が浮上しているが、大手通販業者がこれを先取った形で、内税方式を採用した。今後は通販業界全般に広がりそうだ。税込み価格は原則として、10円単位の端数を切り捨てている為、実質的には、値下げになる。

◇金利0・6%引き上げ

都市銀行各行は、8月10日から9月にかけ、カードローン金利を引き上げる。5月末の公定歩合引き上げで、定期預金金利が引き上げられるなど、資金調達コストの上昇していることに対応する措置として行われたものだ。